

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

FF-0113US



#2
04-2501
SS

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re patent application of

Teshima, A.

Serial No.: 09/742,362

Group Art Unit: 2164

Filing Date: December 22, 2000

Examiner: Unknown

For: METHOD AND SYSTEM FOR OPERATING A VIRTUAL SHOPPING MALL
OR SELLER-ENGAGED TYPE

Assistant Commissioner of Patents
Washington, D.C. 20231

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

Sir:

Submitted herewith is a certified copy of Japanese Application Number 2000-002997 filed on January 11, 2000, upon which application the claim for priority is based.

Respectfully submitted,

A handwritten signature in black ink, appearing to read "Sean M. McGinn".

Sean M. McGinn
Registration No. 34,386

Date: 4/4/01

McGinn & Gibb, PLLC
Intellectual Property Law
8321 Old Courthouse Road, Suite 200
Vienna, Virginia 22182-3817
(703) 761-4100
Customer No. 21254



日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 1月 11日

出願番号
Application Number:

特願2000-1002997

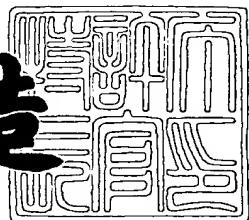
出願人
Applicant(s):

富士写真フィルム株式会社

2000年 9月 8日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3071538

【書類名】 特許願
【整理番号】 01-2263
【提出日】 平成12年 1月11日
【あて先】 特許庁長官 殿
【国際特許分類】 H04L 9/32
【発明者】
【住所又は居所】 埼玉県朝霞市泉水3丁目11番46号 富士写真フィルム株式会社内
【氏名】 手島 篤司
【特許出願人】
【識別番号】 000005201
【氏名又は名称】 富士写真フィルム株式会社
【代理人】
【識別番号】 100104156
【弁理士】
【氏名又は名称】 龍華 明裕
【電話番号】 (03)5366-7377
【手数料の表示】
【予納台帳番号】 053394
【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【フルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 売り手参加型の仮想商店運営方法および仮想商店システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータシステムを用いて仮想商店を運営する方法であつて、

売り手の実商品に対応する仮想商品情報を前記売り手から受け付けて前記仮想商店に登録する商品登録ステップと、

前記仮想商品情報を買い手に提示して、売り手と買い手の仮想商店上での取引を仲介する取引仲介ステップと、

前記売り手から前記買い手への前記実商品の受渡経路を設定することにより前記仮想商店上での取引を現実化する受渡設定ステップと、

を含むことを特徴とする仮想商店運営方法。

【請求項2】 前記受渡設定ステップは、チェーン化された複数の現実の端末基地から前記買い手が前記実商品を引き取るべき端末基地を設定するステップを含むことを特徴とする請求項1に記載の仮想商店運営方法。

【請求項3】 前記受渡設定ステップは、さらに、前記複数の現実の端末基地から前記売り手が前記実商品を持ち込むべき端末基地を設定するステップを含むことを特徴とする請求項2に記載の仮想商店運営方法。

【請求項4】 チェーン化された前記複数の現実の端末基地が形成する物流システムに対して前記実商品の運搬を指示するステップを含むことを特徴とする請求項2または3に記載の仮想商店運営方法。

【請求項5】 前記取引仲介ステップでは、前記売り手の匿名性を確保しながら、前記仮想商品情報を前記買い手に提示することを特徴とする請求項1～4のいずれかに記載の仮想商店運営方法。

【請求項6】 前記売り手の選択に応じて、前記売り手の匿名性を確保するか否かを切り換えることを特徴とする請求項5に記載の仮想商店運営方法。

【請求項7】 前記仮想商品情報を配置するための仮想商店スペースを設定するステップを含み、

前記仮想商店スペースの大きさは、前記売り手から徴収する料金に応じて異なる

って設定されることを特徴とする請求項1～6のいずれかに記載の仮想商店運営方法。

【請求項8】 取引量の多い売り手に対しては、前記仮想商店の費用を低く設定することを特徴とする請求項1～7のいずれかに記載の仮想商店運営方法。

【請求項9】 前記売り手から登録を求められた前記仮想商品情報が適當か否かを検閲する商品検閲ステップを含むことを特徴とする請求項1～8のいずれかに記載の仮想商店運営方法。

【請求項10】 不適当な前記仮想商品情報の登録を求める前記売り手に対して、前記仮想商店上の所定の制裁規則に従った制裁を与えるステップを含むことを特徴とする請求項9に記載の仮想商店運営方法。

【請求項11】 前記所定の制裁規則は、不適当な前記仮想商品情報の登録回数に応じて制裁を強化するように定められていることを特徴とする請求項10に記載の仮想商店運営方法。

【請求項12】 前記仮想商店上での取引が成立したにも拘わらず前記実商品を引き取らない買い手を示すブラックリストを形成するステップを含むことを特徴とする請求項1～11のいずれかに記載の仮想商店運営方法。

【請求項13】 コンピュータシステムを用いて形成される仮想商店システムであって、

各売り手に対して提供され、前記売り手の実商品に対応する仮想商品情報が登録される仮想商店スペースと、

前記仮想商店スペースの前記仮想商品情報が提示された買い手と前記売り手との間で取引が成立したとき、前記売り手から前記買い手への前記実商品の受渡経路を設定する受渡設定機能と、

を有することを特徴とする仮想商店システム。

【請求項14】 前記仮想商店スペースを管理する機能を有し、前記売り手および前記買い手と通信可能に接続される仮想商店運営装置を含むことを特徴とする請求項13に記載の仮想商店システム。

【請求項15】 さらに、前記仮想商店運営装置と通信可能に接続され、チーン化されて物流システムを形成する複数の現実の端末基地の々々に設置され

た端末基地装置を含むことを特徴とする請求項14に記載の仮想商店システム。

【請求項16】 仮想商店システムを構成する仮想商店運営装置と通信可能に接続された端末基地装置であって、

チェーン化されて物流システムを形成する複数の現実の端末基地の各々に設置され、前記仮想商店運営装置とともに前記仮想商店システムの運営に関連する機能を果たすことを特徴とする端末基地装置。

【請求項17】 仮想商店を開設してそのオーナーになりたい売り手のためにオーナー登録手続処理を前記仮想商店運営装置とともに行うことを特徴とする請求項16に記載の端末基地装置。

【請求項18】 前記仮想商店運営装置との情報通信により、前記端末基地を、売り手による実商品の持込場所、および、買い手による前記実商品の引取場所として機能させることを特徴とする請求項16または17に記載の端末基地装置。

【請求項19】 仮想商店のオーナーである売り手の実商品に対応する仮想商品情報を生成する仮想商品情報生成手段を含むことを特徴とする請求項16～18のいずれかに記載の端末基地装置。

【請求項20】 前記仮想商品情報生成手段は、実商品の画像データを記録媒体から読み込む媒体装着装置を含むことを特徴とする請求項19に記載の端末基地装置。

【請求項21】 前記仮想商品情報生成手段は、前記売り手により前記端末基地に持ち込まれた実商品を撮影する撮影装置を含むことを特徴とする請求項19に記載の端末基地装置。

【請求項22】 前記仮想商品情報生成手段は、前記売り手により前記端末基地に持ち込まれた実商品の写真から、前記実商品の画像データを得る写真取込装置を含むことを特徴とする請求項19に記載の端末基地装置。

【請求項23】 仮想商店のオーナーである売り手に対する、実商品に対応する仮想商品情報の生成に利用可能な撮影装置の貸出し情報を管理する管理機能を有することを特徴とする請求項16～22のいずれかに記載の端末基地装置。

【請求項24】 仮想商品情報のカタログを印刷するカタログ印刷装置を有

することを特徴とする請求項16～23のいずれかに記載の端末基地装置。

【請求項25】 仮想商店運営装置で管理している仮想商品情報を検索する検索機能を買い手に提供することを特徴とする請求項16～24のいずれかに記載の端末基地装置。

【請求項26】 コンピュータシステムを用いて開設された仮想商店システム上で、売り手の実商品に対応する仮想商品情報を用いて、前記売り手と買い手の間の商品取引を仲介するステップと、

チェーン化された複数の現実の端末基地で形成される物流システムを利用し、前記売り手が前記実商品を持ち込んだ端末基地と、前記買い手のために指定された端末基地と、を経由して前記実商品を動かすステップと、

を含むことを特徴とする商品流通方法。

【請求項27】 コンピュータシステムを用いて開設される仮想商店システムと、チェーン化された複数の現実の端末基地で形成される物流システムとが融合され、

前記仮想商店システム上で、売り手の実商品に対応する仮想商品情報を用いて、前記売り手と買い手の間の商品取引が仲介され、

前記物流システムを利用して、前記売り手が前記実商品を持ち込んだ端末基地と、前記買い手のために指定された端末基地と、を経由して前記実商品が動かされることを特徴とする商品流通システム。

【請求項28】 チェーン化された複数の店舗と、前記複数の店舗を結ぶ物流システムとを有するチェーン店舗システムであって、

コンピュータシステムを用いた仮想商店システムと融合されており、

前記仮想商店システムの要求に応えて、前記複数の店舗の一つが売り手による商品の持込場所として機能し、前記複数の店舗の一つが買い手による商品の引取場所として機能し、前記物流システムが前記持込場所から前記引取場所まで前記商品を運搬することを特徴とするチェーン店舗システム。

【請求項29】 コンピュータにて実行可能なプログラムを格納した記録媒体であって、前記プログラムは、仮想商店を運営するためのプログラムであって、

売り手の実商品に対応する仮想商品情報を前記売り手から受け付けて前記仮想商店に登録する商品登録ステップと、

前記仮想商品情報を買い手に提示して、売り手と買い手の仮想商店上での取引を仲介する取引仲介ステップと、

前記売り手から前記買い手への前記実商品の受渡経路を設定することにより前記仮想商店上での取引を現実化する受渡設定ステップと

を前記コンピュータに実行せしめることを特徴とする、コンピュータにて読み取可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、コンピュータシステムを用いて仮想商店を運営する方法およびシステムに関し、特に、売り手参加型の好適な仮想商店運営方法およびシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

インターネットの普及を背景として、電子商取引ビジネスが注目されており、そしてコンピュータシステムを用いた仮想商店システムが提案されている。この種のビジネスの一例としてインターネット通信販売が挙げられる。

【0003】

インターネット通信販売は、例えば以下のようにして実現される。まず、売り手がインターネットプロバイダからホームページ用スペースの提供を受ける。売り手は、自分の商店のホームページを自分自身でホームページ用スペース内に作成する。こうして開設された仮想商店は売り手自身により運営される。買い手は、売り手のホームページにアクセスして商品の購入を申し出る。売り手と買い手の間で売買契約が成立すると、売り手が買い手に商品を発送する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

このような仮想商店システムは、買い手にとって非常に便利である。買い手

は、インターネットのようなアクセス手段さえもっていれば、実際に商店に足を運ばずとも、容易に商品を購入できる。

【0005】

また仮想商店システムは、少ない資本で商店をもてるという点で、売り手にも大きな利点がある。しかしながら、売り手が実際に仮想商店を開くとなると問題も多い。

【0006】

例えば、仮想商店を開設するためには、売り手は自分でコンピュータ上に仮想商店のホームページを作成せねばならない。この作業には多くの労力が必要とされ、またコンピュータを駆使する能力が要求される。ホームページ作成サービスを利用することも考えられるが、それなりの費用がかかる。

【0007】

また例えば、売り手は基本的に自分自身でネットワークを通じて買い手とやりとりしなくてはならず、これは売り手にとって煩雑である。

【0008】

さらに、売り手の中には、自分が売り手として名乗り出たくない、という売り手もいる。しかし、従来技術では、取引の信頼性を確保しながら売り手の名前を隠すことは困難である。

【0009】

このように、従来一般には売り手が自分で仮想商店を構築し、運営しなければならず、これが売り手に大きな負担をかける。特に個人等の小規模の売り手にとっては負担が顕著に大きい。そのため、仮想商店を経営できる売り手は実際には非常に限られている。

【0010】

一方、買い手は、個人のような小規模な買い手であっても、簡単に仮想商店システムを利用できる。買い手は単に仮想商店システムに参加して買い物をするだけだからである。仮に売り手も仮想商店システムに参加するだけですめば、売り手の負担は非常に少なくなり、個人なども容易に仮想商店システムの売り手になれると考えられる。

【0011】

ここでは、インターネットのホームページを利用する仮想商店システムを主に想定して、従来技術の問題点を説明した。しかし、同種の任意の仮想商店システムにて同様の問題が生じ得る。

【0012】

本発明は上記課題に鑑みてなされたものであり、その主な目的は、売り手参加型の好適な仮想商店運営方法および仮想商店システムを提供することにある。この目的は特許請求の範囲における独立項に記載の特徴の組合せにより達成される。また従属項は、本発明の具体的かつ有用な形態を規定する。

【0013】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明のある態様は、コンピュータシステムを用いて仮想商店を運営する方法である。この方法は、売り手の実商品に対応する仮想商品情報を前記売り手から受け付けて前記仮想商店に登録する商品登録ステップと、前記仮想商品情報を買い手に提示して、売り手と買い手の仮想商店上での取引を仲介する取引仲介ステップと、前記売り手から前記買い手への前記実商品の受渡経路を設定することにより前記仮想商店上での取引を現実化する受渡設定ステップと、を含む。

【0014】

前記受渡設定ステップは、チェーン化された複数の現実の端末基地から前記買い手が前記実商品を引き取るべき端末基地を設定するステップを含んでもよい。前記受渡設定ステップは、さらに、前記複数の現実の端末基地から前記売り手が前記実商品を持ち込むべき端末基地を設定するステップを含んでもよい。チェーン化された前記複数の現実の端末基地が形成する物流システムに対して、持込基地から引取基地への前記実商品の運搬を指示するステップが設けられてもよい。チェーン化された端末基地群が好適に利用される。

【0015】

また前記取引仲介ステップでは、前記売り手の匿名性を確保しながら、前記仮想商品情報を前記買い手に提示してもよい。前記売り手の選択に応じて、前記売

り手の匿名性を確保するか否かを切り換えてよい。

【0016】

本発明によれば、前記仮想商品情報を配置するための仮想商店スペースを設定するとき、前記仮想商店スペースの大きさが、前記売り手から徴収する料金に応じて異なって設定されてもよい。

【0017】

本発明によれば、取引量の多い売り手に対しては、前記仮想商店の費用が低く設定されてもよい。

【0018】

本発明によれば、前記売り手から登録を求められた前記仮想商品情報を前記仮想商店に登録することが適當か否かが検閲されてもよい。前記仮想商店に登録することが不適當な前記仮想商品情報の登録を求める前記売り手に対して、前記仮想商店上の所定の制裁規則に従った制裁を与えてよい。前記所定の制裁規則は、不適當な前記仮想商品情報の登録回数に応じて制裁を強化するように定められていてよい。

【0019】

本発明によれば、前記仮想商店上での取引が成立したにも拘わらず前記実商品を引き取らない買い手を示すブラックリストが形成されてもよい。

【0020】

本発明の別の態様は、コンピュータシステムを用いて形成される仮想商店システムである。このシステムは、各売り手に対して提供され、前記売り手の実商品に対応する仮想商品情報が登録される仮想商店スペースと、前記仮想商店スペースの前記仮想商品情報が提示された買い手と前記売り手との間で取引が成立したとき、前記売り手から前記買い手への前記実商品の受渡経路を設定する受渡設定機能と、を有する。

【0021】

また本発明の別の態様は、仮想商店システムを構成する仮想商店運営装置と通信可能に接続された端末基地装置である。この端末基地装置は、チェーン化されて物流システムを形成する複数の現実の端末基地の各々に設置され、前記仮想商

店運営装置とともに仮想商店システムの運営に関連する機能を果たす。

【0022】

端末基地装置は、仮想商店を開設してそのオーナーになりたい売り手のためにオーナー登録手続処理を前記仮想商店運営装置とともにに行ってもよい。

【0023】

端末基地装置は、前記仮想商店運営装置との情報通信により、前記端末基地を、売り手による実商品の持込場所、および、買い手による前記実商品の引取場所として機能させてもよい。

【0024】

端末基地装置は、仮想商店のオーナーである売り手の実商品に対応する仮想商品情報を生成する仮想商品情報生成手段を含んでもよい。例えば、実商品の画像データを記録媒体から読み込む媒体装着装置が設けられる。また例えば、端末基地に持ち込まれた実商品を撮影する撮影装置が設けられる。また例えば、端末基地に持ち込まれた実商品の写真が写真取込装置によって画像データに変換される。

【0025】

端末基地装置には、仮想商店のオーナーである売り手に対する、実商品に対応する仮想商品情報の生成に利用可能な撮影装置の貸出し情報を管理する管理機能が備えられてもよい。

【0026】

端末基地装置には、買い手のために仮想商品情報のカタログを印刷するカタログ印刷装置が設けられてもよい。

【0027】

端末基地装置は、仮想商店運営装置で管理している仮想商品情報を検索する検索機能を買い手に提供してもよい。

【0028】

本発明の別の態様は商品流通方法である。この方法は、(1)コンピュータシステムを用いて開設された仮想商店システム上で、売り手の実商品に対応する仮想商品情報を用いて、前記売り手と買い手の間の商品取引を仲介するステップと

、（2）チェーン化された複数の現実の端末基地で形成される物流システムを利用し、前記売り手が前記実商品を持ち込んだ端末基地と、前記買い手のために指定された端末基地と、を経由して前記実商品を動かすステップと、を含む。

【0029】

本発明の別の態様は商品流通システムである。この商品流通システムでは、コンピュータシステムを用いて開設される仮想商店システムと、チェーン化された複数の現実の端末基地で形成される物流システムとが融合される。そして、前記仮想商店システム上で、売り手の実商品に対応する仮想商品情報を用いて、前記売り手と買い手の間の商品取引が仲介される。さらに、前記物流システムを利用して、前記売り手が前記実商品を持ち込んだ端末基地と、前記買い手のために指定された端末基地と、を経由して前記実商品が動かされる。

【0030】

本発明の別の態様は、チェーン化された複数の店舗と、前記複数の店舗を結ぶ物流システムとを有するチェーン店舗システムである。このチェーン店舗システムはコンピュータシステムを用いた仮想商店システムと融合されている。前記仮想商店システムの要求に応えて、前記複数の店舗の一つが売り手による商品の持込場所として機能し、前記複数の店舗の一つが買い手による商品の引取場所として機能し、前記物流システムが前記持込場所から前記引取場所まで前記商品を運搬する。

【0031】

本発明の別の態様はプログラムを格納した記録媒体である。前記プログラムは、仮想商店を運営するためのプログラムである。前記プログラムは、売り手の実商品に対応する仮想商品情報を前記売り手から受け付けて前記仮想商店に登録する商品登録ステップと、前記仮想商品情報を買い手に提示して、売り手と買い手の仮想商店上での取引を仲介する取引仲介ステップと、前記売り手から前記買い手への前記実商品の受渡経路を設定することにより前記仮想商店上での取引を現実化する受渡設定ステップとをコンピュータに実行せしめる。

【0032】

なお以上の発明の概要は、本発明に必要なすべての特徴を列挙したものではな

く、当然ながら、これらの特徴群のサブコンビネーションもまた発明となりうる。

【0033】

【発明の実施の形態】

以下の実施の形態は、特許請求の範囲に記載された発明を限定するものではなく、また実施の形態の中で説明されている特徴の組合せのすべてが発明の解決手段に必須であるとは限らない。

【0034】

図1は本実施の形態の概念を示している。仮想商店システムは、サーバ機能を有する仮想商店運営装置Eを含む。仮想商店運営装置Eは売り手Aおよび買い手Bと通信可能に接続されている。通信手段は例えばインターネットであるが、これには限定されない。

【0035】

仮想商店システムは、さらに、複数の端末基地に設置された端末基地装置（図示せず）と通信可能に接続されている。通信手段は例えばインターネットであるが、これには限定されない。図1では2つの端末基地C、Dが示されているが、実際にはさらに多くの端末基地が存在する。

【0036】

複数の端末基地はチェーン化されており、一つの物流システムを形成している。複数の端末基地は好ましくはチェーン店舗であり、例えばコンビニエンスストアである。この場合、仮想商店運営装置Eはコンビニエンスストアの本社に設置されてもよい。また例えば、チェーン店舗は、本願の出願時点の出願人が関連している写真現像店でもよい。ただし、端末基地および物流システムがこれらに限定されないことはもちろんである。

【0037】

図1において、仮想商店運営装置Eはコンピュータシステム上で仮想商店を管理、運営する。仮想商店運営装置Eは、売り手Aの実商品に対応する仮想商品情報を売り手Aから受け付けて仮想商店に登録する。登録された仮想商品情報は買い手Bに提示される。

【0038】

図2は、仮想商店のイメージを示している。複数の売り手a、b、c・・・のために仮想商店が設置されている。各仮想商店には売り手の商品が登録されている。

【0039】

図2に示されるように、売り手は自分の商店名を公開してもよく（売り手a、b、d）、公開しなくてもよい（売り手c、e、f）。

【0040】

また、図示のように、売り手によって仮想商店スペースの大きさが異なっている。本実施の形態では、仮想商店スペースのサイズは、商品を陳列できる棚の数で表される。仮想商店スペース（商品棚）は要するに仮想商店運営装置のメモリ上のある領域である。後述するように、棚数は、売り手の支払う費用に応じて異なって設定される。

【0041】

また、図2では、複数の個々の仮想商店がモール（商店街）を形成している。しかし、デパートのように、1つの仮想商店が複数の売り手に商店スペースを提供してもよい。モール全体を一つの仮想商店とみなしてもよく、一方で、デパート内の個々のスペースを一つの仮想商店とみなすこともでき、要するに仮想商店の単位は適当に設定できる。

【0042】

図1に戻り、仮想商店運営装置Eは、仮想商店の商品情報を買い手Bに提示して、売り手Aと買い手Bの仮想商店上での取引を仲介する。取引が成立すると、売り手Aから買い手Bへの実商品の受渡経路が設定される。この受渡経路に沿って実商品が運ばれて、仮想商店上での取引が現実化される。

【0043】

本実施の形態では、受渡経路として、買い手Bが商品を引き取るべき端末基地Dが設定される。端末基地Dは、買い手Bの選択に従って設定される。買い手Bは、例えば自分の最寄りの端末基地を選択する。仮に予め引取場所が決まっている場合には、その場所がそのまま引取用の端末基地に設定されてもよい。

【0044】

これにより、売り手Aから、（いずれかの端末基地を通り、）物流システムを介して指定された端末基地Dに至り、買い手Bに渡される、という商品受渡経路が設定される。

【0045】

上記の設定に従い商品が売り手Aから買い手Bに受け渡される。売り手Aは実商品を任意の端末基地Cに持ち込む。端末基地Cは例えば最寄りの適当な端末基地である。物流システムには、仮想商店運営装置Eより、端末基地Cから端末基地Dまで実商品を運ぶように指示が出される。この指示に従って物流システムが実商品を運ぶ。買い手Bは端末基地Dで実商品を受け取り、持ち帰る。

【0046】

なお、端末基地Dと同様に、売り手Aにより商品が持ち込まれる端末基地Cも、仮想商店上の取引の段階で設定されてもよい。これにより、物流システムの2つの基地を通る経路が設定される。このとき、端末基地Cは売り手Aの選択に応じて設定されてもよい。また売り手Aの所在地は登録されているので、この所在地に最も近い端末基地が持込場所として売り手Aに提案されてもよい。また売り手Aのために予め実商品の持込場所が登録されていてもよい。この場合、登録された持込場所は、そのまま受渡経路の一部に設定されてよい。売り手Aの持込場所を前もって設定すれば、商品受渡を管理し易くなる。

【0047】

以上のように、本実施の形態によれば、売り手参加型の好適な仮想商店運営方法および仮想商店システムが提供される。売り手は自分で仮想商店を運営するというよりは、通信等を用いて仮想商店システムに参加している。

【0048】

以下、図1の概念をさらに具体化した本実施の形態の仮想商店システムについて説明する。

【0049】

図3は仮想商店システムを示すブロック図である。モール運営者（E）は、図1の仮想商店運営装置Eの一形態である。また、端末基地およびその端末基地装

置は、それぞれ店舗およびインターネット端末である。図3には、多数の店舗を代表して、売り手Aの最寄り店舗（C）と、買い手Bの最寄り店舗（D）が示されている。

【0050】

また売り手（A）および買い手（B）は、それぞれ、インターネット端末を有する。インターネット端末は例えば家庭用のパーソナルコンピュータである。その他、インターネット端末は、インターネット接続可能な任意の装置でよく、例えばPDAおよび携帯電話などでもよい。

【0051】

モール運営者（E）は例えばチェーン店舗の本社に存在する。モール運営者（E）は、店舗との通信のためにインターネットサーバおよびインターネットアプリケーションを備え、売り手（A）および買い手（B）との通信のためにインターネットサーバおよびインターネットアプリケーションを備える。さらにモール運営者（E）にはデータベースサーバが設置され、データベースサーバは仮想商店を実質的に管理、運営するとともに運営者全体を制御する。仮想商店の運営のために、店舗管理データベース、取引管理データベース、ユーザ管理データベース、商品管理データベースが設けられている。また、メンテナンス端末は、モール運営者（E）のオペレータにより操作される。

【0052】

なお、売り手（A）は、自分のインターネット端末を使う代わりに、チェーン店舗のインターネット端末を用いてモール運営者（E）にアクセスしてもよい。買い手（B）も同様である。インターネット端末には、売り手（A）および買い手（B）が必要とする機能が備えられている。

【0053】

図4は、仮想商店運営装置E（図3のモール運営者）の構成をより具体的に示す機能ブロック図である。店舗および売り手、買い手との通信手段は省略されている。

【0054】

オーナー登録管理部10は、仮想商店のオーナーとして売り手を登録し、管理

する。オーナー管理情報は、オーナー管理データベース22に格納される。

【0055】

商品登録管理部12は、売り手の実商品に対応する仮想商品情報を売り手から受け付け、その仮想商品情報を仮想商店に登録し、管理する。仮想商品情報は、商品管理データベース24に格納される。

【0056】

商品検閲処理部14は、仮想商品情報をチェックし、その仮想商品情報を仮想商店に登録することが適當か否かを判定する。検閲は登録の前でも後でもよい。登録後に検閲処理が行われる場合、判定結果に応じて登録が削除され、あるいは商品の提示が制限される。

【0057】

取引仲介処理部16は、売り手と買い手の仮想商店上での取引を仲介する。商品提示、注文受付、在庫確認、取引ID発行等の処理が行われる。詳細は後述する。売り手と買い手の取引が成立すると、受渡設定部18が商品の受渡経路を設定する。そして、受渡管理部20が、受渡経路に沿った実商品の受け渡しを管理する。取引仲介から受渡管理までの処理では、店舗管理データベース26および取引管理データベース28が利用される。

【0058】

図5、図6、図7、図8は、それぞれオーナー管理データベース22、商品管理データベース24、店舗管理データベース26および取引管理データベース28を例示している。

【0059】

オーナー管理データベース22は、識別情報、連絡先などのオーナー管理情報を記憶する。商品管理データベース24は、売り手により登録された商品の各種情報を記憶する。商品の画像データも記憶される。店舗管理データベース26は、各店舗の所在地等を記憶する。取引管理データベース28は、個々の取引の内容と状況を記憶する。

【0060】

オーナー管理データベース22と商品管理データベース24により売り手とそ

の商品が決まり、図2の仮想商店が形成される。オーナー管理データベース22中の項目「棚数」は、前述したように商店スペースを表している。棚数は、オーナーが支払う料金に応じて設定される。

【0061】

図9は、仮想商店システムの料金体制の例である。この例では、仮想商店の基本料金が棚数に応じて3ランク(S、M、L)に分けられている。また取引毎の手数料は取引額に応じて設定されている。

【0062】

また図8の取引管理データベースにおいて、進捗状況を示す数字は例えば以下のように設定される。1：取引発生、2：在庫確認済み、3：商品を売り手最寄り店舗から発送済み、4：商品が買い手最寄り店舗に到着、5：買い手が商品を受け取り済み、-1：トラブル発生による処理中断、-2：取引中止。

次に、端末基地に備えられた端末基地装置(図3ではインターネット端末)について説明する。

【0063】

図10は端末基地装置の構成を示している。端末基地装置の基本的な機能は、オーナー登録と、商品持込／引取管理である。さらに本実施の形態では、端末基地装置が、売り手の商品登録に関連する機能と、買い手の商品購入に関連する機能とを備える。これは、売り手および買い手が自分の端末の代わりに端末基地装置を利用可能にするためである。

【0064】

図10において、オーナー登録処理部40は、仮想商店運営装置Eとともに、仮想商店のオーナーになりたい売り手のためにオーナー登録手続処理を行う。このように、売り手は基本的に店舗に行ってオーナー登録を受ける。変形例としては、売り手が自分の端末でオーナー登録処理を行ってもよい。

【0065】

実商品持込管理部42は、売り手が端末基地に商品を持ち込んだときに機能する。売り手は商品とともに取引ID(識別情報、番号、文字、記号、それらの組合せ等)を端末基地に持ち込む。実商品持込管理部42は、取引IDを仮想商店

運営装置Eに送り、商品の送り先を問い合わせる。仮想商店運営装置Eは、商品の送り先の端末基地を返信する。実商品持込管理部42は、教えられた端末基地に商品を発送し、発送完了を仮想商店運営装置Eに通知する。

【0066】

なお、売り手が商品を持ち込むより前に予め端末基地が商品の持込場所として指定されている場合は、好ましくは、端末基地には取引IDと商品の送り先が前もって通知される。商品が持ち込まれると、取引IDが確認され、速やかに商品が発送され、発送完了が仮想商店運営装置Eに通知される。

【0067】

一方、実商品引取管理部44は、端末基地が商品の引取場所に指定されたときに機能する。実商品引取管理部44は、端末基地への商品の到着を管理する。商品の到着は仮想商店運営装置Eに通知される。実商品引取管理部44は、さらに、買い手による商品の引取りを管理する。引取の完了も仮想商店運営装置Eに通知される。そのほかにも管理状況は適宜、仮想商店運営装置Eに連絡される。

【0068】

商品登録処理部46は、仮想商店運営装置Eと共同して、売り手の実商品に対応する仮想商品情報を仮想商店に登録する。具体的には、商品登録処理部46は、仮想商品情報を売り手の識別情報とともに仮想商店運営装置Eに送り、商品情報の登録を要求する。そして商品登録の通知を仮想商店運営装置Eから受信する。

【0069】

仮想商品情報生成処理部48は、売り手のために仮想商品情報を生成する。仮想商品情報は好ましくは商品の画像データを含む。画像データは、メディア装着部50、撮影装置52またはスキャナ54を介して取得される。商品画像データを記録した記録媒体を売り手が持ち込んだときは、その記録媒体がメディア装着部50に装着され、画像データが読みとられる。売り手が実商品そのものを持ち込んだときは、その実商品が撮影装置52、好適にはデジタルカメラにより撮影される。売り手が実商品の写真を持ち込んだときには、写真取込装置としてのスキャナ54により、写真から画像データが生成される。

【0070】

カメラ貸出し管理部56は、売り手に対するカメラ（撮影装置）の貸出し状況を管理する。売り手は、カメラを借りて持ち帰り、自分で商品を撮影する。撮影画像は自分の端末に取り込んで、仮想商店にアップロードしてもよい。また、撮影した写真がカメラごと端末基地に持ち込まれてもよい。この説明から明らかなように、デジタルカメラが好適に使用される。

【0071】

カタログ印刷処理部58は、プリンタ60を用いて、仮想商店のカタログを印刷する。この機能は売り手と買い手の両方により利用される。売り手は、ダイレクトメールおよび折込広告など、インターネット以外のメディアを活用したいとき、仮想商店に登録した自分の商品のカタログを印刷する。買い手は、商品検索結果を印刷したり、自分が購入した商品の情報を印刷する。

【0072】

商店オリジナル作成処理部62は、商店毎のオリジナルページを売り手のために作成するサービスを提供する。このサービスは、一定サイズ以上の仮想商店契約を結んだ売り手を対象としてもよい。

【0073】

商品購入処理部64は、仮想商店で買い物をしたい買い手のために設けられている。商品購入処理部64は、買い手の注文を受け付け、その注文を仮想商店運営装置Eに送る。

【0074】

商品検索処理部66は、買い手のために商品検索機能を提供する。買い手は、この機能を利用して、仮想商店にて、自分の欲しい商品を探すことができる。

図11は端末基地装置の外観を示している。ユーザはタッチパネル式の表示画面を用いてアプリケーションを操作する。このとき、指先以外にも専用ペンを使用できる。またIDカードの挿入口が設けてあり、登録オーナーの認証に用いられ、さらに新規オーナーのIDカード発行に用いられる。

【0075】

さらに、画像データの読み書きが可能な各種メディアドライブ（装着部）、画

像撮影用のディジタルカメラ、画像読込用のフラットベットスキャナが備えられている。料金（硬貨、紙幣）挿入口および返却口は、オーナー登録料の支払いなどに用いられる。

【0076】

以上に端末基地装置の構成を説明した。なお、チェーン店舗の店員が操作する装置と、チェーン店舗の客（売り手および買い手）が操作する装置とが個別に設けられてもよい。また両者が一つの装置を操作してもよい。

【0077】

次に、上記の仮想商店システムの動作を説明する。

図12は、仮想商店運営装置Eの全体的な動作を示すフローチャートである。まず、仮想商店のオーナーになりたい売り手がオーナーとして登録される（S10）。オーナーの情報はオーナー管理データベース22に格納される。以降は、適宜、オーナーからの連絡に応じて管理情報が書き換えられる。もちろん、オーナーを登録から抹消することもできる。

【0078】

オーナー登録の後、仮想商店運営装置Eは売り手から仮想商品情報を受け付けて、仮想商店に登録する（S20）。登録された商品は、インターネットを利用して買い物手に提示される（S30）。そして、買い物手の注文受付から取引に至るまでの処理が行われる（S40）。ここで売り手と買い物手の仮想商店上での取引が仲介される。

【0079】

仮想商店上で取引が成立すると、商品の受渡経路が設定される（S50）。ここでは、買い物手が商品を引き取りに行く店舗が設定される。受渡経路に沿って商品が動くように、物流システムの受渡が管理される（S60）。すなわち、売り手が商品を持ち込んだ店舗から、指定された店舗へと、商品が運ばれる。また、S50では、売り手が商品を持ち込む店舗も設定してもよく、この場合は指定された2つの店舗を経由して商品が動かされる。

【0080】

図13、図14、図15、図16、図17は上記の図12の各ステップの詳細

を示している。

図13は、図12のオーナー登録ステップを示す。仮想商店運営装置Eは、端末基地装置から、仮想商店スペース（商品カタログのスペース）を売り手に販売したという通知を受信する（S12）。受信情報には、売り手の識別情報などが含まれる。この段階で、仮想商店のサイズ（棚数）が設定されてもよい。あるいは、別途、売り手が自分の端末を使用して商店サイズを選択してもよい。

【0081】

販売通知を受信すると、仮想商店運営装置Eは、オーナー管理情報を記録するとともに、商品データベース24に仮想商店スペースを確保する（S14）。そしてスペース確保通知、すなわち仮想商店開設通知がオーナー宛に送られる（S16）。

【0082】

図14は、図12の商品登録ステップを示す。仮想商店運営装置Eは、売り手から仮想商品情報を受信する（S22）。仮想商品情報が検閲され（S24）、検閲結果がOKであれば、仮想商品情報がそのまま仮想商店スペースに配置され、買い手に公開される（S26）。検閲の結果がNGであれば、商品の公開は制限され、所定の制裁規則に従った制裁処理が行われる（S28）。

【0083】

検閲処理では、仮想商品情報を仮想商店に登録することが適當か否かが判定される。より具体的には、仮想商品情報が仮想商店運営者の意向に沿っているか否かが判定される。予め、どのような商品が運営者の意向に沿わないかを決めておくことが望ましい。

【0084】

検閲処理は自動的に行われてもよい。また、検閲処理は、仮想商品情報をオペレータに提示して判断結果を求める処理でもよい。また、画像情報またはテキスト情報を基に一次段階の粗い判定がコンピュータ側で行われ、二次段階の詳細な判定がオペレータにより行われてもよい。

【0085】

自動的な検閲処理には、例えば検閲用の検索キーワードが用いられる。このキ

キーワードに商品関連のテキスト情報がヒットしたら、その商品の登録が不適当と判断される。一種のフィルタ処理である。

【0086】

またテキストデータは上記のキーワード検索でコンピュータでチェックされ、画像データはオペレータに提示されてもよい。画像データがコンピュータでチェックされてもよい。写真現像技術を応用して、画像が適当か否かが判定される。例えば極端に暗い画像や不鮮明画像が検出される。

【0087】

検閲結果がNGのときは、仮想商品情報の提示が制限される。このとき、全面的に提示が禁止されてもよく、あるいは部分的に提示されてもよい。

また制裁規則は段階的に設定されてもよい。例えば、1回目の違反では警告が与えられ、2回目の違反では違反料が徴収され、3回目の違反では契約が解除される。

【0088】

図15は、図12の注文受付ー取引処理を示している。仮想商店運営装置Eは、買い手から注文を受信すると(S42)、売り手に対して在庫を確認する(S44)。在庫がなければ(S46,N)、取引は不成立に終わる(S48)。在庫があれば(S46,Y)、取引が成立し、取引IDが発行される(S49)。

図16は、図12の受渡設定処理の一例を示している。仮想商店運営装置Eは、買い手のために商品を引き取るべき店舗を設定する。まず、仮想商店運営装置Eは、引取店舗の選択を買い手に要求する(S52)。この要求に応えて買い手が引取店舗を選択する(S54)。例えば、店舗一覧が、仮想商店運営装置Eから買い手に送られ、端末上に表示される。店舗一覧から、所望の店舗が選ばれる。買い手の住所が判明している場合には、最寄りの店舗がデフォルトの引取店舗として推奨されてもよい。買い手が店舗を選択すると、その店舗が引取店舗に設定される(S56)。

【0089】

なお、売り手の持込店舗は特に予め指定しなくてもよい。ただし、持込店舗を設定する場合は、同様の処理が行われればよい。また持込店舗は売り手毎に登録

されていてもよい。例えばオーナー登録を行った店が持込店舗として初期登録される。

【0090】

好ましくは、受渡設定処理は、上述の取引処理の途中で行われる。例えば、商品の注文が仮想商店運営装置Eに送られるとき、引取店舗の選択結果も一緒に送られる。

【0091】

図17は、図12の受渡管理処理を示している。取引成立時に発行された取引IDは、まず売り手に通知される(S61)。さらに、取引IDは、買い手が商品を引き取る予定の店舗に通知される(S62)。取引IDの通知には、電子メールが用いられてもよく、その他、電話、ファックスなどが用いられてもよい。

売り手が商品と取引IDを最寄り店舗に持ち込むと、その店舗から仮想商店運営装置Eに商品の送り先が問い合わせされる(S63)。仮想商店運営装置Eが送り先を教えると、次に仮想商店運営装置Eは、商品発送の完了を示す発送通知を受信する(S64)。

【0092】

さらに商品が送り先(引取店舗)に到着すると、引取店舗から仮想商店運営装置Eに到着通知が送られる(S65)。仮想商店運営装置Eは、買い手に対し、到着を通知し、さらに取引IDを通知する(S66)。買い手が引取店舗で商品を受け取ると、引取店舗から仮想商店運営装置Eに引取完了通知が送られる(S67)。これにより商品引渡しが完了する。

【0093】

図18は、主に売り手の立場に立ったときの商品販売の流れを示している。

(1) 仮想商店の開設：売り手は最寄りの店舗まで行き、端末基地装置を用いて仮商店スペースを購入することにより、オーナーとして登録される。このとき、トラブル防止、取引の安全のために身分証が提出される。仮想商店運営装置にてオーナー登録が完了すると、売り手宛に開設通知(スペース確保の通知)が電子メールで送られる。

【0094】

(2) 商品登録：売り手は商品を仮想商店に登録する。この登録操作は各売り手が自分の端末を使って個人で行う。売り手はチェーン店舗に行って端末基地装置を利用してもよい。同時に登録できる商品の数は、商店の棚数までである。登録の抹消も端末を利用して行われる。

【0095】

(3) 登録内容チェック：この手続きは前述の検閲処理に相当する。新規登録商品がチェックされ、公開するか否かが判定される。公開／非公開の判定結果は自動的に売り手へに電子メールで通知される。また、売り手が商品登録の抹消を依頼したときは、現在は該当商品の取引が存在しないことが確認された後、商品データが消去される。

【0096】

(4) 商品公開：売り手の商品はインターネットの仮想商店上で公開される。

【0097】

(5) 商品取引：買い手が仮想商店に注文を送ると、自動的に仮想商店運営装置から売り手に注文メールが送られる。売り手は該当商品の在庫を確認する。在庫に問題がなければ、売り手は「在庫有り」を電子メールで仮想商店運営装置に伝える。次に売り手は、仮想商店が発行した取引IDを電子メールで受信する。取引IDは買い手にも通知される。

【0098】

(6) 商品販売：売り手は、最寄りの適当な店舗へ商品を持ち込み、取引IDを店舗の店員に提示する。売り手は商品と引き替えに代金を受け取る。店舗で支払いを行うので、支払処理の安全性が高い。代金は、商品の値段から送料および手数料を引いた額である。送料と手数料は別途精算されてもよい。またこの精算には電子決済が使われてもよい。

【0099】

図19は、主に買い手の立場に立ったときの商品購入の流れを示している。

(1) 仮想商店にアクセス：買い手は、パーソナルコンピュータや携帯電話などのインターネットに接続可能な端末から、仮想商店運営者のホームページにアクセスする。買い手は特別な会員登録を必要としない。

【0100】

(2) 商品検索：買い手はホームページ上で欲しい商品を検索し、商品の提示を受ける。

【0101】

(3) 商品注文：買い手は、欲しい商品が見つかったら、端末上の注文ボタンを押す。この操作を受けて店舗選択画面が現れると、買い手は適当な店舗を、商品引取場所として選択する。商品注文の際には、買い手は電子メールアドレスを通知する。

【0102】

(4) 在庫通知：買い手は在庫有無の通知を受け取る。在庫確認は、仮想商店運営者と売り手の間で行われる。在庫に問題が無ければ、買い手は配送待ち状態に入る。在庫がなければ取引は不成立に終わる。

【0103】

(5) 商品到着通知：買い手は、商品が指定店舗に到着したことを知らせる電子メールを受け取る。このメールには、取引IDが含まれている。

【0104】

(6) 商品購入：買い手は、取引IDを控えて、指定店舗に商品を取りに行く。買い手は、取引IDを店員に提示して、商品を受け取り、代金を支払う。代金はチェーン店本社等の適当な場所へ送られる。

【0105】

上記のように、本実施の形態では、売り手および買い手から見ると、仮想商店としての商品カタログ、カタログ編集依頼受付窓口、商品注文窓口、各種問合せ先などが一体となってインターネット上に存在する。

【0106】

次に、図20～図63は、チェーン店舗に設置された端末基地装置に表示される各種の画面を示している。これらの画面を参照しつつ、端末基地装置および仮想商店システムの各種の機能を説明する。端末基地装置の主な機能は、「オーナー登録」「商品登録」「商品登録用の画像取得」「商品検索」「商品注文」である。

【0107】

図20は「サービスホーム」の画面である。ユーザのボタン操作に応じて画面が切り替わる。すなわち、ご利用ガイド、商品検索および商品登録が選択されると、それぞれ「ご利用ガイド」（図32）、「商品検索」（図52）または「カード要求」（図21）が表示される。

【0108】

図21は「カード要求」の画面である。売り手がすでに仮想商店のオーナーである場合、売り手はオーナーカードを所定のカードスロットに入れる。新規オーナー登録時は、店舗管理のメンテナンスカードが挿入される。オーナーカードが挿入されると「ユーザ認証」（図33）が現れる。メンテナンスカードが挿入されると「メンテナンスホーム」（図22）が現れる。ご利用ガイドのボタンが押されると「ご利用ガイド」（図32）が現れる。キャンセルボタンが押されると「サービスホーム」（図20）が現れる。

【0109】

<オーナー登録（メンテナンスマード）>

図22は「メンテナンスホーム」の画面である。メンテナンスマードではオーナーが新規に登録される。この登録操作は店舗の店員により行われてもよく、オーナーになるべき客により行われてもよい。ユーザ登録（オーナー登録に相当）のボタンが押されると「ユーザ項目入力」（図23）が現れる。終了ボタンが押されると「カード返却」（図31）が現れ、カードはスロットから排出される。

図23は「ユーザ項目入力」の第1の画面である。オペレータ（売り手または店員）が各項目の囲みを押すと図24の文字入力画面が表示される。この画面を用いて項目が記入され、入力が完了すると（OKが押されると）、再び図23の画面が現れる。

【0110】

図24は「文字入力」の画面である。この画面は、キーボードのない店頭端末で文字入力を実現するためのものである。左側の平仮名、数字、英字を指定すると、右側に候補文字が現れる。その中から所望の文字が指定される。中央下の矢印でカーソルを移動できる。この画面は、ユーザ項目入力に限られず、文字入力

が必要な全部の操作にて現れ、利用される。

【0111】

図25は「ユーザ項目入力」の第2の画面であり、図23の画面の全項目が記入された状態を示している。OKボタンが押されると、「身分証入力」（図26）が現れる。キャンセルボタンが押されると、「メンテナンスホーム」（図22）が現れる。

【0112】

図26は「身分証入力」の画面である。オペレータが端末基地装置のフラットベットスキヤナの上に身分証を載せて、OKボタンを押すと、スキヤニング画像が取り込まれる。OKボタンが押されると「パスワード決定」（図27）が現れ、キャンセルボタンが押されると「メンテナンスホーム」（図22）が現れる。

【0113】

図27は「パスワード決定」の画面である。売り手が決めた4桁のパスワードが入力される。パスワードは、商品登録時などに認証用に用いられる。OKボタンが押されると「登録料支払」（図28）が現れ、キャンセルボタンが押されると「メンテナンスホーム」（図22）が現れる。

【0114】

図28は「登録料支払」の画面である。要求された料金が売り手により支払われる。支払が終了すると「カード発行」（図29）が現れる。キャンセルボタンが押されると「メンテナンスホーム」（図22）が現れる。

【0115】

図29は「カード発行」の画面である。売り手は端末から発行されるオーナーカードを受け取る。受け取り後、「ユーザ登録完了」（図30）が現れる。

【0116】

図30は「ユーザ登録完了」の画面である。この画面で新規オーナーのIDが発行される。オーナーIDは、表示された6桁の数字に、パスワードの4桁の数字をつなげた、合計10桁の数字である。OKボタンが押されると「メンテナンスホーム」（図22）が現れる。

【0117】

図31は「カード返却」の画面である。オーナーカードまたはメンテナンスカードが端末装置から排出、返却される。カードがオペレータにより受け取られると、「サービスホーム」（図20）が現れる。

【0118】

図32は「ご利用ガイド」の画面である。本サービス（仮想商店：インターネットモール）の利用方法が記述される。戻るボタンが押されると、呼び出し元の画面が現れる。

【0119】

<商品登録>

図33以下の画面は商品登録のために利用される。

図33は「ユーザ認証」の画面である。4桁のパスワードが売り手により入力される。既にオーナーカードが挿入されているので、10桁のID全部を入力する必要はない。OKボタンが押されると「商品登録ホーム」（図34）が現れる。キャンセルボタンが押されると「カード返却」（図31）が現れる。

【0120】

図34は「商品登録ホーム」の画面である。これは、登録商品の管理に用いられるメニュー画面である。ボタン操作に応じて画面が切り替わる。すなわち、新規登録が押されると「新規商品登録」（図35）が、商品確認が押されると「確認商品選択」（図37）が、内容変更申請が押されると「変更商品選択」（図39）が、削除申請が押されると「削除商品選択」（図41）が、ご利用ガイドが押されると「ご利用ガイド」（図32）が、終了が押されると「カード返却」（図31）が現れる。

【0121】

図35は「新規商品登録」の第1の画面である。新規に登録する商品データが入力される。商品名、値段、コメントの各欄は、「文字入力」（図24）を用いて入力される。店名公開の欄については、匿名希望か否かに応じてYes/Nοが選択される。変更ボタンを指定すると、「画像入力ホーム」（図43）が現れ、画像の入力作業が始まる。画像入力が完了すると、図35の画面が再び現れる。

【0122】

図36は「新規商品登録」の第2の画面である。画像を含む全項目の入力が完了している。OKボタンが押されると「商品登録ホーム」（図34）が表示される。キャンセルボタンが押されたときも「商品登録ホーム」（図34）が表示される。

【0123】

図37は「確認商品選択」の画面である。確認したい商品の画像部分が売り手により指定される。画像が選択されると「商品詳細情報」（図38）が現れる。キャンセルボタンが押されると「商品登録ホーム」（図34）が現れる。

【0124】

図38は「商品詳細情報」の画面である。既に登録されている商品の詳細な情報が表示される。戻るボタンが押されると「確認商品選択」（図37）が再び現れる。

【0125】

図39は「変更商品選択」の画面である。内容を変更したい商品の画像部分が指定される。画像が選択されると「内容変更申請」（図40）が表示される。キャンセルが押されると「商品登録ホーム」（図34）が表示される。

【0126】

図40は「内容変更申請」の画面である。既に登録されている商品の情報が表示される。売り手は、変更を希望する欄の内容を変えた後、OKボタンを押す。文字列の変更には、「文字入力」（図24）が利用される。画像の変更には、「画像入力ホーム」（図43）が用いられる。OKボタンが押されると「変更商品選択」（図39）が表示される。キャンセルボタンが押されたときも「変更商品選択」（図39）が表示される。

【0127】

図41は「削除商品選択」の画面である。商品棚から削除したい商品の画像部分が指定される。画像が選択されると「削除申請」（図42）が現れる。キャンセルが選択されると「商品登録ホーム」（図34）が現れる。

【0128】

図42は「削除申請」の画面である。既に登録されている商品の情報が表示される。削除する場合、売り手はOKボタンを押す。OKボタンが押されると「削除商品選択」(図41)が現れる。キャンセルボタンが押されたときも再び「削除商品選択」(図41)が現れる。

【0129】

<商品画像取得>

図43は「画像入力ホーム」の画面である。これはメニュー画面であり、画像入力に用いられる。画像は、メモリカード、フレキシブルディスク等のメディアから入力され、またはカメラから入力され、またはスキャナから入力される。

【0130】

ボタン操作に応じて画面が切り替わる。メディア(スマートメディア、ZIP、フロッピー(商標))が押されると「メディア挿入」(図44)が現れ、デジタルカメラが押されると「画像撮影」(図48)が現れ、スキャナが押されると「画像スキャン」(図50)が現れる。キャンセルが押されたときは、呼び出し元の画面が表示される。

【0131】

図44は「メディア挿入」の画面である。売り手はメディアを指定のドライブに挿入してOKボタンを押す。OKボタンが押されると「フォルダ選択」(図45)が現れる。キャンセルボタンが押されると「画像入力ホーム」(図43)が再び表示される。

【0132】

図45は「フォルダ選択」の画面である。売り手は所望の画像ファイルが格納されたフォルダを選択してOKボタンを押す。OKボタンが押されると「ファイル選択」(図46)が現れる。キャンセルボタンが押されると「メディア挿入」(図44)が現れる。

【0133】

図46は「ファイル選択」の画面である。選択フォルダ内の画像が一覧表示される。売り手は一覧表示の中から所望の画像を選択する。画像が選択されると「ファイル画像確認」(図47)が現れる。キャンセルボタンが押されると「フォ

ルダ選択」（図45）が再び現れる。

【0134】

図47は「ファイル画像確認」の画面である。売り手が画像を確認してからOKボタンを押すと、呼び出し元の画像が表示される。キャンセルボタンが押されると「ファイル選択」（図46）が現れる。

【0135】

図48は「画像撮影」の画面である。売り手は画面の指示に従い、店頭端末機に備え付けのデジタルカメラで商品を撮影する。画面には、カメラからの入力がスルー処理によってリアルタイムに表示される。撮影操作が行われると「撮影画像確認」（図49）が現れる。キャンセルボタンが押されると「画像入力ホーム」（図43）が現れる。

【0136】

図49は「撮影画像確認」の画面である。売り手が画像を確認してからOKボタンを押すと、呼び出し元の画像が表示される。キャンセルボタンが押されると「画像撮影」（図48）が現れる。

【0137】

図50は「画像スキャン」の画面である。売り手は店頭端末に備え付けのスキヤナに商品の写真をセットし、商品の画像を取り込む。画像が取り込まれると「スキャン画像確認」（図51）が現れる。キャンセルボタンが押されると「画像入力ホーム」（図43）が表示される。

【0138】

図51は「スキャン画像確認」の画面である。売り手が画像を確認してからOKボタンを押すと、呼び出し元の画面が表示される。キャンセルボタンが押されると「画像スキャン」（図50）が現れる。

【0139】

<商品検索、商品購入>

図52以下は、商品検索および商品購入に用いられる。以下の図面は、買い手のための機能を示している。

図52は「商品検索ホーム」の第1の画面であり、買い手が商品提示を受ける

ための処理がここから始まる。買い手は各項目欄に検索条件を入力する。キーワードが入力されると、商品名、店名およびコメントの中からキーワードが探される。検索式においては、商品名、店名、価格、キーワードの各項目が「AND」で結合される。買い手はすべての項目を記入しなくてもよい。

分類の欄は、商品リストの分類形態を指定するために用いられる。「なし」、「ショップ別」、「カテゴリ別」、「発売日別」、「価格別」の5形態が選択可能である。

【0140】

図53は「商品検索ホーム」の第2の画面であり、買い手により検索条件が入力された状態を示す。買い手がOKボタンを押すと、分類選択に応じた商品リストが表示される。ここでは、買い手が分類「なし」を選択したと仮定する。この場合、「商品リスト」（図54）が表示される。他の商品リスト（図61～図63）については後述する。またキャンセルボタンが押されると「サービスホーム」（図20）が表示される。

【0141】

図54は「商品リスト」の画面である。買い手は、詳細情報を見たい商品画像を指定する。前へ／次への送りボタン操作に応じて、他のリストが表示される。商品画像が指定されると「商品詳細表示」（図55）が現れる。キャンセルが押されると「商品検索ホーム」（図52）が現れる。

【0142】

図55は「商品詳細表示」の画面である。商品の詳細な情報が表示される。買い手は詳細表示を見て、商品を購入するか否かを決定する。購入が選択されると「商品購入」（図56）が現れる。戻るが選択されると「商品リスト」（図54）が現れる。

【0143】

図56は「商品購入」の第1の画面である。買い手は連絡先を入力する。

【0144】

図57は「商品購入」の第2の画面である。連絡先の入力が終了した状態が示されている。買い手は商品の受取店舗（引取店舗）を指定する。現在店頭端末を

操作している店舗を選択する場合、「この店で受け取る」を選択する。「この店で受け取る」が選択されると「商品購入確認」（図59）が現れる。「他の店で受け取る」が選択されると「商品受け取り店舗選択」（図58）が現れる。

【0145】

図58は「商品受け取り店舗選択」の画面である。買い手は商品を受け取る店舗を選択する。店舗名が選択されると「商品購入確認」（図59）が現れる。戻るが押されると「商品購入」（図56）が現れる。

【0146】

図59は「商品購入確認」の画面である。買い手は商品を確認した後にOKボタンを押す。OKボタンが押されると「購入手続き完了」（図60）が現れる。キャンセルボタンが押されると「商品詳細表示」（図55）が現れる。

【0147】

図60は「購入手手続き完了」の画面である。買い手に対して取引IDが発行され、購入手手続きは完了する。OKボタンが押されると「商品検索ホーム」（図52）が現れる。

【0148】

図61～図63は、商品リスト表示の他の例である。

図61は「商品リスト～ショップ分類」の画面である。この画面が現れるのは、検索条件の入力画面で分類「ショップ別」が選択されたときである。商品リストはショップ（商店）毎に分類されている。各ショップには代表画像として一つの商品の画像が表示される。ここで、買い手が各画像を選択すると、該当ショップの商品群の中から、前検索条件に合致する商品が表示される。

【0149】

図61の画面では、さらに、残りの分類「なし」「カテゴリ別」「発売日別」「価格別」を選択できる。分類「なし」以外が買い手により指定されれば、該当ショップの商品をさらに指定項目で分類した商品リスト画面が表示される。こうした更なる分類処理は、以下の他の分類項目に関連しても同様に行われる。

【0150】

図62は「商品リスト～カテゴリ分類」の画面である。この画面が現れるのは

、検索条件の入力画面で分類「カテゴリ別」が選択されたときである。カテゴリ別に分類された商品リストが表示される。ここで、買い手が各画像を選択すると、該当カテゴリの商品群の中から、前検索条件に合致する商品が表示される。

【0151】

図63は「商品リスト－価格帯分類」の画面である。この画面が現れるのは、検索条件の入力画面で分類「価格別」が選択されたときである。価格帯別に分類された商品リストが表示される。ここで、買い手が各画像を選択すると、該当価格帯の商品群の中から、前検索条件に合致する商品が表示される。そのほか、分類「発売日別」については図中に示さなかったが、他の分類と原理的に同じである。

【0152】

以上、チェーン店舗の店頭端末装置（端末基地装置の一形態）の各種機能を、各機能に関連するG U I画面に基づいて説明した。

【0153】

上記の店頭端末装置の機能には、売り手および買い手の端末にも共通する機能が含まれていた。商品登録、商品検索、商品注文等である。これらの機能は、仮想商店へのアクセスを通じて、売り手または買い手の端末でも実現される。端末が違っても機能的には同じなので、説明は省略する。

【0154】

「画像データベースエンジン」

ところで、このような豊富な機能を端末で実現するために、仮想商店運営装置としてのサーバは、高機能の画像データベースエンジンを備えることが望ましい。Web環境を利用したコミュニケーション型画像データベースエンジンが好適に適用される。

【0155】

画像データベースエンジンは好ましくは画像の登録機能、検索機能、削除機能、編集機能などを備える。利用者がWebブラウザを使い、インターネット等を経由してこれらの機能を容易に利用できるようなデータベースエンジンが好ましい。例えば、売り手は、商品の画像の登録、削除、編集を容易に行える。買い手

は、商品の画像を容易に検索できる。

【0156】

画像データベースエンジンは、動的に画像の分類形態を変更可能なグルーピング機能を有することが好ましい。これにより、図53、62～図63で示したように、各種の分類形態で商品画像の一覧を表示できる。図53では、分類の例としてショップ別、カテゴリ別、発売日別、価格別が示されている。グルーピング機能により、商品のグループを動的に組み替えられる。グルーピング機能は、複数の分類項目に基づくツリー構造（階層構造）に従って画像を分類できることが好ましい。

【0157】

さらに画像データベースエンジンは、アクセス制限機能、データベースカスタム機能、画面カスタム機能などを備えてもよい。そのほか、仮想商店運営装置のアプリケーションの開発には、上記のデータベースエンジンに適応するライブラリプログラムが好適に用いられ、これによりアプリケーションが容易に開発される。

【0158】

<オプション>

以下、その他の各種オプション機能を説明する。

「クーリングオフ対策」

買い手がクーリングオフを要求したときは、商品が買い手から売り手まで返却される。仮想商店運営装置は、商品受渡と同様の方法で返却を促進する（進行方向は逆）。クーリングオフのためには送料等の費用が発生する。そこで、予想されるクーリングオフ発生率に基づき予め手数料が設定される。すなわち、手数料には、クーリングオフ時の送料などの損失分が上乗せされる。

【0159】

「買い手のいたずら対策」

買い手がいたずらで仮想商店に商品を注文することがあり得る。この場合、買い手は、商品を店舗まで引き取りに来ない。そこで、買い手から代金を受け取った後で売り手に代金を支払うようにシステムが構成されてもよい。

【0160】

「買い手用ブラックリスト」

仮想商店運営装置は、商品を注文したにも拘わらず引き取りに来なかった買い手のメールアドレスをブラックリストに記入し、このブラックリストを管理する。次回以降は取引が無効にされる。例えば、次に同じメールアドレスから注文が送られても、その注文は無視される。

【0161】

「売り手用ブラックリスト」

商品登録の際には検閲処理が行われる。仮想商店での公開が拒否されたとき、その商品を登録しようとした売り手がブラックリストに記入される。仮想商店運営装置は、このブラックリストを管理する。ブラックリストの記入回数に応じた制裁処理が売り手に科せられる。

【0162】

「商品販売権利の解約」

売り手は、商品販売権利を解約したいとき、最寄りのチェーン店舗に行く。チェーン店舗の端末装置には解約処理機能が備えられる。

【0163】

「料金削減」

取引量の多い売り手に対しては、仮想商店の費用が低く設定される。この料金削減は、商品単位でもよい。例えば、売れ行きのよい商品については、陳列棚レンタル料が無料に設定される。売れ行き状況は、一定期間の取引数が所定値以下か否かによって判断する。商品ジャンル、商品価格に応じて基準値が異なって設定されてもよい。このような料金の削減により、売り手が積極的に自己の商店を改善することが期待できる。

【0164】

「ランキング表示機能」

これは、取引数のランキングリストを各端末に表示する機能である。ランキングリストは仮想商店運営装置が作成して端末に送る。好ましくは、商品単位、カテゴリ単位、ショップ単位などの複数種類のランキングリストが切換表示され、

あるいは並べて表示される。チェーン店の端末はもちろんのこと、売り手および買い手の端末にも送られてもよい。

【0165】

例えば、仮想商店運営装置では、このランキング表示機能のため、オーナー管理データベースと商品管理データベースに販売数累計カラムが設けられる。取引が発生するたびにカラムの値が増加される。サービスのホームページなどに、累計結果が表示される。好ましくは、累計値が大きい方から順に所定数（例えば5つ程度）の商品、カテゴリ、ショップなどが表示される。

【0166】

このようなランキング表示により、買い手にとっては有益な情報が得られる。売り手にとっては商店改善の良い刺激が与えられる。これらの相乗効果による仮想商店システムの活性化を期待できる。

【0167】

「御愛好感謝制度」

これは、取引の多い商品について、取引数に応じて商品価格を割り引く機能である。

図64は、この機能に利用される割引設定テーブルの例であり、仮想商店運営装置に用意される。このテーブルに従い、取引数に応じて販売価格が割り引かれる。割引タイプは、売り手が商品を登録するときに選択できる。この選択結果が、仮想商店運営装置（商品データベース）に保持される。選択結果に基づき、テーブルに従って算出された価格が買い手に提示される。また売り手は、割引を行うか行わないかも選択できる。

【0168】

上記の割引機能により、買い手にとっては、ヒット商品を安価で購入できるという利点が得られる。売り手にとっては、出荷数が頭打ちになった商品のさらなる販売増加を期待できる。仮想商店の運営者にとって、集客力の向上と、それに伴う手数料収入の増加が期待できる。

【0169】

「買い手へのポイント還元制度」

買い手の利用額に応じてポイントが加算される。買い手は、ポイントを用いて次回以降に商品を購入できる。このポイントはチェーン店舗の他の製品購入（モール購入以外）にも利用可能であってもよい。

【0170】

このサービスでは買い手は匿名で商品を購入できるが、購入手続で連絡先が入力される。この連絡先をキーとして、顧客管理データベースが構築される。そして、取引毎に取引額の一定割合（例えば5%）がポイントに加算される。溜まったポイントは、店頭端末にて連絡先を入力することで、チェーン店舗のポイントカードに書き込まれる。これによりポイントを使用可能となる。ポイントカードは店頭端末の他、チェーン店のカウンタで利用可能としてもよい。

【0171】

<利点>

以上、本発明の好適な実施の形態を説明した。次に、本実施の形態の各種の利点を説明する。

(1) 本実施の形態によれば、売り手参加型の好適な仮想商店運営方法および仮想商店システムが提供される。すなわち、売り手は自分で仮想商店を運営するというよりは、通信等を用いて仮想商店システムに参加している。

【0172】

本実施の形態によれば、売り手が仮想商品情報を仮想商店運営装置に送れば、仮想商店運営装置が仮想商店とその商品を管理してくれる。売り手と買い手の取引は仮想商店運営装置に仲介されるので、直接のやりとりが不要である。売り手は、自分の名前を買い手に提示しなくてもよい。取引の信用は仮想商店運営装置により確保される。

【0173】

このように、本実施の形態によれば、従来のインターネット通信販売などと比較すると、売り手の負担を軽減することができる。これにより、個人なども容易に仮想商店システムの売り手になれるようになることができる。。

【0174】

ちなみに従来のインターネット通信販売では、プロバイダはホームページ用ス

ベースを提供するだけであり、売り手と買い手を引き合わせる程度の役目しか果たさない。売り手には、ホームページ作成等のためにコンピュータ言語を扱う作業を含め、多くの作業が要求されていた。本実施の形態によれば、こうした売り手の作業を削減することが可能である。

【0175】

(2) また本実施の形態では、以下のように、チェーン化された端末基地群と物流システムが上手く利用されている。端末基地は典型的にはチェーン店である。

まず、実商品の受渡経路の設定が容易である。買い手のために、端末基地群の中から適当な端末基地、好ましくは最寄りの端末基地を設定すればよい。売り手のために端末基地を設定するときも同様である。

【0176】

また、売り手の匿名性を確保できる。仮に従来のインターネット通信販売のように売り手から買い手に直接商品を送ると、売り手の名前は露出する。本実施の形態によれば、物流システムを介して受渡が行われるので、商品の受渡でも売り手の名前が露出しない。なお、買い手の匿名性も同様に確保できる。

【0177】

商品受渡の際には、端末基地が物流システムの端子として機能する。売り手は1つの端子に商品を持ち込む。買い手は別の端子で商品を引き取る。物流システムを上手く利用して、商品の受け渡しが、安全、確実かつ迅速に行われる。

【0178】

なお、周知のように、コンビニエンスストアのようなチェーン店は、宅配便の基地としても機能する。しかし、本実施の形態の受渡方法は、宅配便の配達方法とは根本的に異なる。まず、宅配便では、送付先と送付元が伝票に記入されるので、匿名性が確保されない。さらに、本実施の形態のような仮想商店の商品受渡のための経路設定機能、管理機能は、宅配便には見られない。

【0179】

(3) さらに、本実施の形態によれば、端末基地としてチェーン店にも幾つもの利点が提供される。

本実施の形態では、買い手がチェーン店まで行って商品を引き取り、特に、売り手がチェーン店まで商品を持ち込む。買い手も売り手もチェーン店にとっては顧客であり、消費者である。仮想商店上での一つの取引で、二人の消費者がチェーン店を訪れる。したがってチェーン店の集客力が向上する。

【0180】

また、チェーン店が形成する既存の物流システムが効率よく利用される。すなわち、現実のお店のための物流システムがもつ余力を活用して、仮想商店のための商品が運ばれる。これにより配送料を収入として得ることもできる。

【0181】

各チェーン店舗は売場面積を拡張するわけでもなく、商品管理を行うわけでもない。商品登録も売り手がやるので、チェーン店側の負担は少ない。しかし、買い手から見ると、チェーン店に仮想商店の商品があるようにも見える。全部のチェーン店で従来より多くの商品を扱っているのと同様の効果が得られる。在庫を抱えずに実質的に商品を増やす。

【0182】

(4) 売り手にとってのさらなる利点を説明する。

売り手は端末基地に行ってオーナー登録をする。商品販売権利を得るために時間的、物理的コストが低い。例えば端末基地がコンビニエンスストアであれば、小物を買い物にいくのと同様の手間で、仮想商店を開設できる。ホームページを作成するなどの膨大な労力が不要になる。

【0183】

また少ない管理コストで広範囲に仮想商品情報、つまりは商品カタログを公開できる。商品登録のための実質的な手間は、デジタルカメラによる商品の撮影と、アップロードプリント程度である。

【0184】

売り手は常時在庫を把握していなくてもよい。注文が来てから在庫の有無を答えればよい。売り手は、仮想商店と実際の自分の商店を掛け持つこともできる。また売り手は、複数の仮想商店を掛け持つこともできる。

【0185】

また本実施の形態では、「商品棚数」、すなわち仮想商店スペースの大きさが、売り手から徴収する料金に応じて異なって設定される。売り手は、自己の資金力に応じて、適当な料金で仮想商店をもつことができる。これは、仮想商店の運営者にとっても有利である。売り手に無用に広いスペースを提供せずに済み、メモリ容量の無駄を回避できる。

【0186】

また本実施の形態では、取引量の多い売り手に対しては、仮想商店の費用が低く設定される。これにより、各売り手が商店および商品を改善するように図ることができる。

【0187】

また本実施の形態では、商品登録の際に商品が検閲される。そして必要に応じて制裁が売り手に与えられる。これにより、不適当な商品情報の公開を回避することができる。仮想商店運営者の意図に沿った仮想商店を形成し、維持することができる。

【0188】

また本実施の形態では、仮想商店上での取引が成立したにも拘わらず実商品を引き取らない買い手を示すブラックリストが形成される。これにより、取引の安全性が維持されるように図ることができる。

【0189】

(5) 本実施の形態では、端末基地に備えられる端末基地装置も独立した特徴的な構成となり得る。端末基地装置は例えばチェーン店の店頭に設置される。端末基地装置は、その好適な機能により、仮想商店システムが円滑に機能するのに役立ち、これにより仮想商店システムがより便利になっている。

【0190】

すなわち、端末基地装置を設けたことにより、売り手のオーナー登録が容易である。商品受渡も円滑に行われる。また商品登録の適切なサービスも売り手に提供できる。特に、商品画像の作成機能は売り手にとって便利である。さらにカタログ印刷機能も便利である。

【0191】

買い手にとっては、商品の検索ができて便利である。買い手は、携帯電話を使って仮想商店にアクセスすることもできる。しかし、画面のサイズをはじめとして、携帯電話の機能は限られている。一方、端末基地装置を使えば外出中でも仮想商店をより便利に活用できる。

【0192】

なお、本実施の形態は、商品流通方法または商品流通システムとして把握することもできる。商品流通システムでは、コンピュータシステムを用いて開設される仮想商店システムと、チェーン化された複数の現実の端末基地で形成される物流システムとが融合される。仮想商店システムは、インターネット等での商品カタログ機能と注文管理機能を提供できる。

【0193】

また本実施の形態は、チェーン店舗システムとして把握することもできる。チェーン店舗システムは、チェーン化された複数の店舗と、前記複数の店舗を結ぶ物流システムとを有する。チェーン店舗システムは、コンピュータシステムを用いた仮想商店システムと融合されている。

【0194】

さらに、別の実施の形態は、上述した仮想商店運営方法を実現するための記録媒体でもよい。このプログラムは仮想商店運営装置のサーバで実行される。

【0195】

以上、実施の形態を説明したが、本発明の技術的な範囲はこれらの記載には限定されない。これらの実施の形態に多様な変更または改良を加えうることは当業者には理解されるところである。

【0196】

例えば、図示された各種の構成は、物理的には一つでなくてもよい。仮想商店運営装置は複数のコンピュータで構成されたシステムでもよい。また例えば、本実施の形態では売り手および買い手が仮想商店とインターネットで接続されたが、他の任意の通信手段で接続されてもよい。

【発明の効果】

本発明によれば、売り手参加型の好適な仮想商店運営方法および仮想商店シス

テムが提供される。チェーン化された端末基地で形成される物流システムを仮想商店の商品受渡に利用することが好適であり、仮想商店が便利になる等の効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

- 【図1】 実施の形態の全体構成を概念的に示す図である。
- 【図2】 仮想商店のイメージを示す図である。
- 【図3】 仮想商店システムの構成を示す図である。
- 【図4】 仮想商店運営装置の構成を示す図である。
- 【図5】 オーナー管理データベースを示す図である。
- 【図6】 商品管理データベースを示す図である。
- 【図7】 店舗管理データベースを示す図である。
- 【図8】 取引管理データベースを示す図である。
- 【図9】 仮想商店システムの料金体制の例を示す図である。
- 【図10】 端末基地装置の構成を示す図である。
- 【図11】 端末基地装置の外観を示す図である。
- 【図12】 仮想商店運営装置の動作を示すフローチャートである。
- 【図13】 図12のオーナー登録ステップを示すフローチャートである。
- 【図14】 図12の商品登録ステップを示すフローチャートである。
- 【図15】 図12の注文受付-取引処理を示すフローチャートである。
- 【図16】 図12の受渡設定処理を示すフローチャートである。
- 【図17】 図12の受渡管理処理を示すフローチャートである。
- 【図18】 売り手から見た商品販売の流れを示す図である。
- 【図19】 買い手から見た商品購入の流れを示す図である。
- 【図20】 端末基地装置に表示されるサービスホームの画面を示す図である。
- 【図21】 同じくカード要求の画面を示す図である。
- 【図22】 同じくメンテナンスホームの画面示す図である。
- 【図23】 同じくユーザ項目入力の画面を示す第1の図である。
- 【図24】 同じく文字入力の画面を示す図である。

- 【図25】 同じくユーザ項目入力の画面を示す第2の図である。
- 【図26】 同じく身分証入力の画面を示す図である。
- 【図27】 同じくパスワード決定の画面を示す図である。
- 【図28】 同じく登録料支払の画面を示す図である。
- 【図29】 同じくカード発行の画面を示す図である。
- 【図30】 同じくユーザ登録完了の画面を示す図である。
- 【図31】 同じくカード返却の画面を示す図である。
- 【図32】 同じくご利用ガイドの画面を示す図である。
- 【図33】 同じくユーザ認証の画面を示す図である。
- 【図34】 同じく商品登録ホームの画面を示す図である。
- 【図35】 同じく新規商品登録の画面を示す第1の図である。
- 【図36】 同じく新規商品登録の画面を示す第2の図である。
- 【図37】 同じく確認商品選択の画面を示す図である。
- 【図38】 同じく商品詳細情報の画面を示す図である。
- 【図39】 同じく変更商品選択の画面を示す図である。
- 【図40】 同じく内容変更申請の画面を示す図である。
- 【図41】 同じく削除商品選択の画面を示す図である。
- 【図42】 同じく削除申請の画面を示す図である。
- 【図43】 同じく画像入力ホームの画面を示す図である。
- 【図44】 同じくメディア挿入の画面を示す図である。
- 【図45】 同じくフォルダ選択の画面を示す図である。
- 【図46】 同じくファイル選択の画面を示す図である。
- 【図47】 同じくファイル画像確認の画面を示す図である。
- 【図48】 同じく画像撮影の画面を示す図である。
- 【図49】 同じく撮影画像確認の画面を示す図である。
- 【図50】 同じく画像スキャンの画面を示す図である。
- 【図51】 同じくスキャン画像確認の画面を示す図である。
- 【図52】 同じく商品検索ホームの画面を示す第1の図である。
- 【図53】 同じく商品検索ホームの画面を示す第2の図である。

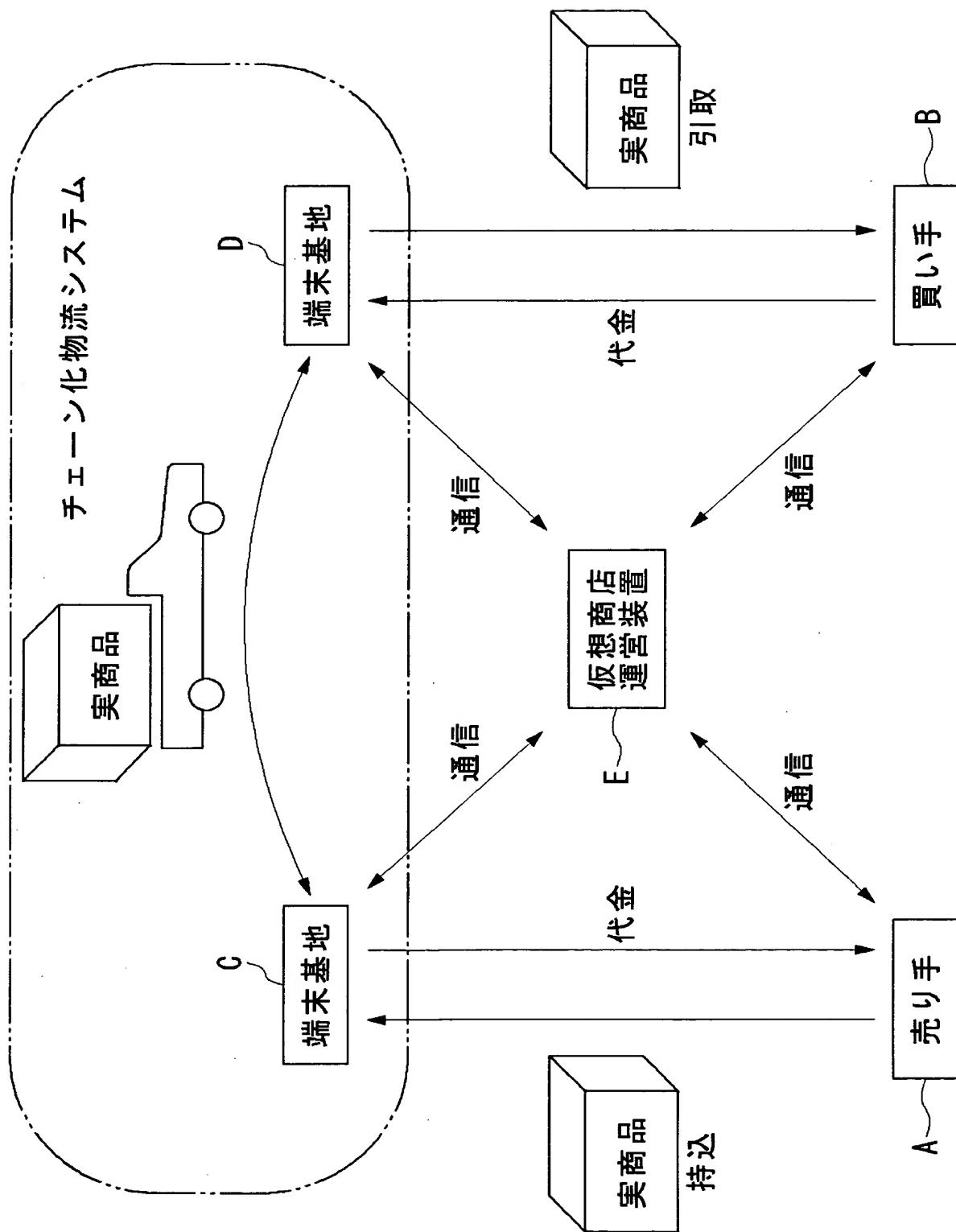
- 【図54】 同じく商品リストの画面を示す図である。
- 【図55】 同じく商品詳細表示の画面を示す図である。
- 【図56】 同じく商品購入の画面を示す第1の図である。
- 【図57】 同じく商品購入の画面を示す第2の図である。
- 【図58】 同じく商品受け取り店舗選択の画面を示す図である。
- 【図59】 同じく商品購入確認の画面を示す図である。
- 【図60】 同じく購入手続き完了の画面を示す図である。
- 【図61】 同じく商品リスト・ショップ分類の画面を示す図である。
- 【図62】 同じく商品リスト・カテゴリ分類の画面を示す図である。
- 【図63】 同じく商品リスト・価格帯分類の画面を示す図である。
- 【図64】 オプション機能に用いられる割引設定テーブルの例を示す図である。

【符号の説明】

A 売り手、B 買い手、C, D 端末基地、E 仮想商店運営装置、10
 オーナー登録管理部、12 商品登録管理部、14 商品検閲処理部、16 取
 引仲介処理部、18 受渡設定部、20 受渡管理部、22 オーナー管理デ
 ティベース、24 商品管理データベース、26 店舗管理データベース、28
 取引管理データベース、40 オーナー登録処理部、42 実商品持込管理部、
 44 実商品引取管理部、46 商品登録処理部、48 仮想商品情報生成処理
 部、50 メディア装着部、52 撮影装置、54 スキャナ、56 カメラ貸
 出し管理部、58 カタログ印刷処理部、60 プリンタ、64 商品購入処理
 部、66 商品検索処理部。

【書類名】 図面

【図1】



【図2】

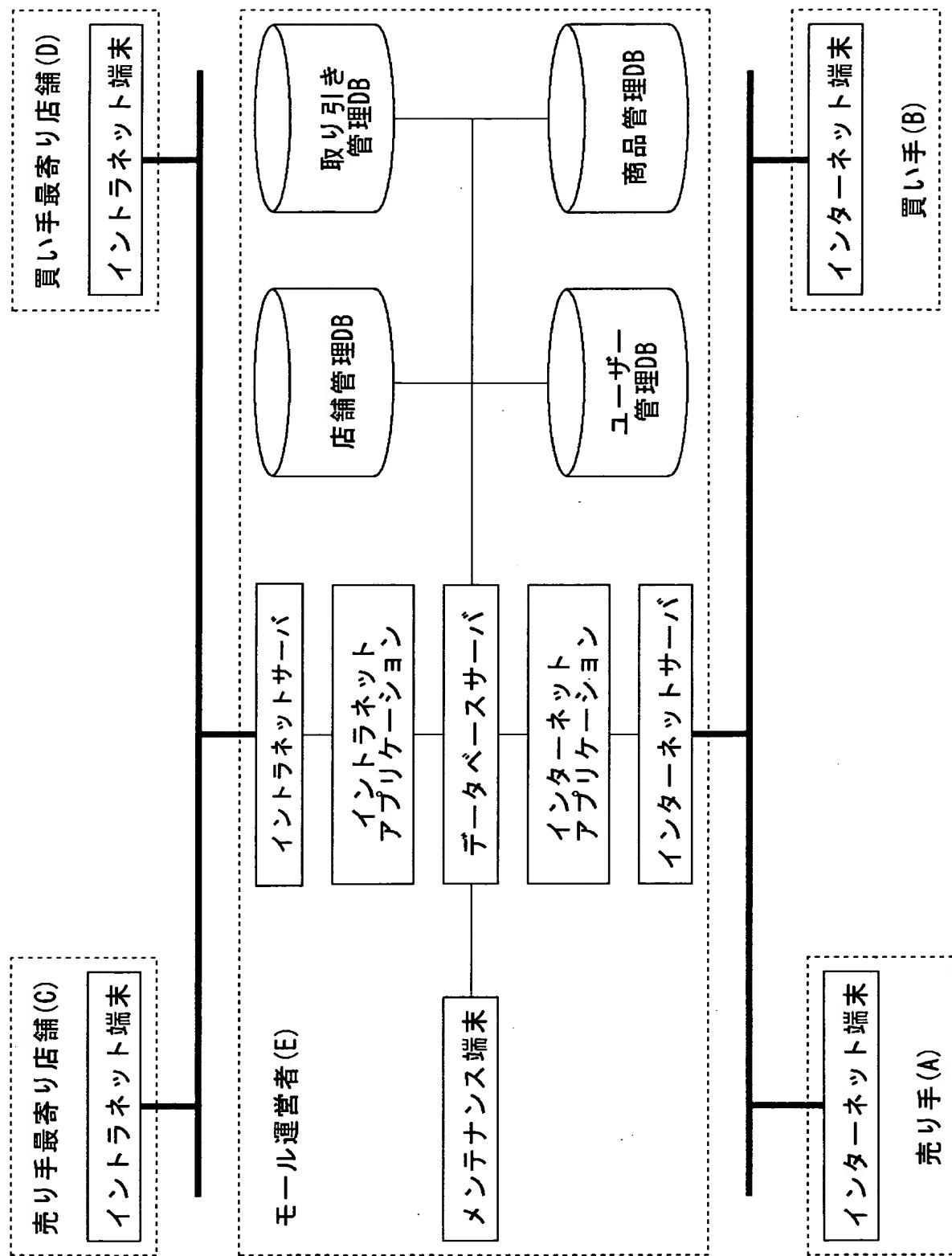
仮想商店のイメージ

モール
(商店街)

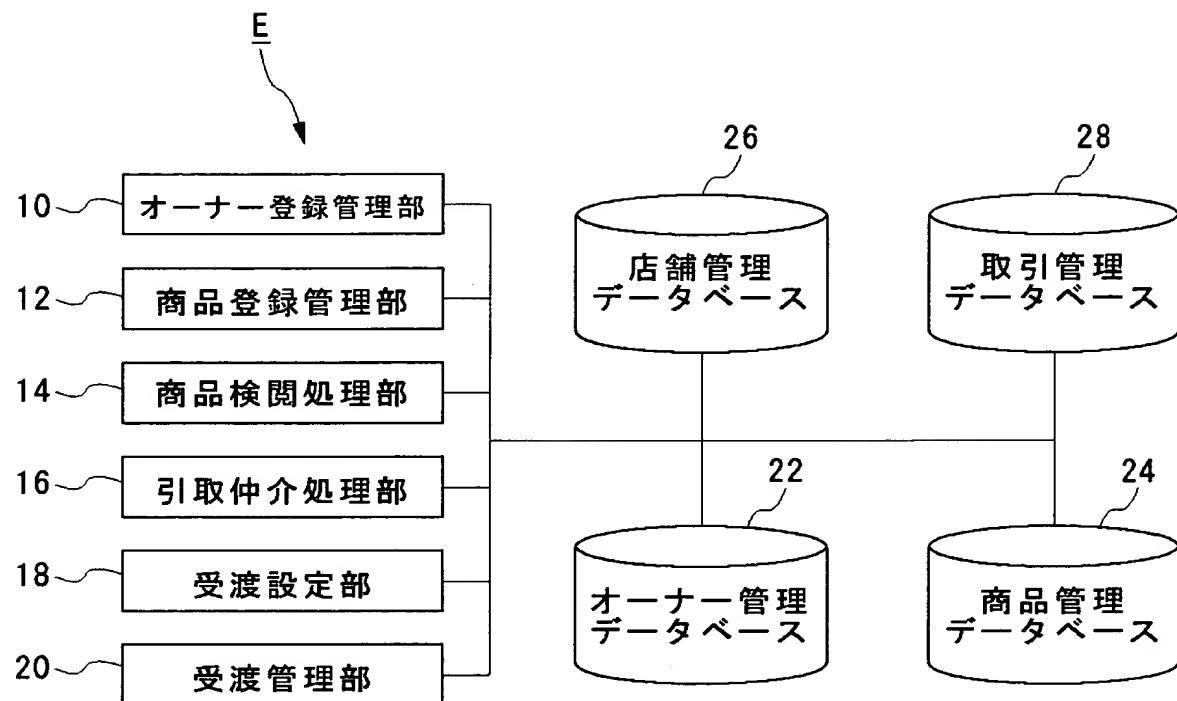
a	X商店						
b	Y商店			空	空		
c	匿名						
d	Z商店					空	空
e	匿名						空
f	匿名						

棚

【図3】



【図4】



オーナー管理データベースのテーブル構成例

【図5】

Index	氏名	Shop名	TEL	住所
主キー	文字列	文字列	文字列	文字列
1	青山 太郎	Fuji 雑貨	03-1234-5678	東京都港区青山1-2-3
2	手島 隆介	0Z	048-232-1331	埼玉県朝霞市泉水5-5
:	:	:	:	:

Eメール	登録店舗Index	登録日時	ID	パワード	棚数
文字列	ID	日時	文字列	文字列	数字
Fuji@aaa.bbb	24	1999/9/4	H&4krP3	3hsT%KR	5
ryu@ccc.ddd	11	1999/9/7	JPs(h=rH	4H:sqZs#	5
:	:	:	:	:	:

IDとパワードはセキュリティを考慮して、暗号化された内容が格納される。

商品管理データベースのテーブル構成図

【図6】

Index 主キー	オーナーIndex ID	カテゴリ 文字列	商品名 文字列	値段 数字	コメント 文字列
1	2	時計	お爺さんの古時計	5800	今はもう動かない…
2	1	衣服	カウボーイハット	2000	本場アメリカで…
:	:	:	:	:	:

	販売数累計 数字	店名公開 BOOL値	発売中 BOOL値	登録日時 日時
	0	N	Y	1999/9/29
	0	Y	Y	1999/10/22
	:	:	:	:

店舗管理データベースのテーブル構成例

【図7】

Index	店名	TEL	住所	FAX	Eメール	店舗コード	登録日時
主キー	文字列	文字列	文字列	文字列	文字列	文字列	日時
:	:	:	:	:	:	:	:
24	渋谷店	03-1111-2222	東京都渋谷区〇〇	03-1111-2223	SESB@abc.xyz	SESB01	1999/1/19
:	:	:	:	:	:	:	:

取引管理データベースのテーブル構成例

【図8】

Index 主キー	取引ID 文字列	商品Index ID	受取店舗Index ID	購入者TEL 文字列	購入者Eメール 文字列	登録日時 日時	進捗 数字
:	:	:	:	:	:	:	:
4142	5102634	2	11	048-444-7777	teshima@aaa.bbb	1999/12/9	4
:	:	:	:	:	:	:	:

進捗カラムの数字は下記の通りである。

- 1: 取り引き発生
- 2: 在庫確認済み
- 3: 商品を売り手最寄り店舗から発送済み
- 4: 商品が買い手最寄り店舗に到着
- 5: 買い手が商品を受け取り済み
- 1: トラブル発生による処理中止
- 2: 取引中止

【図9】

料金体制の例

基本料金(法人価格は別途相談)

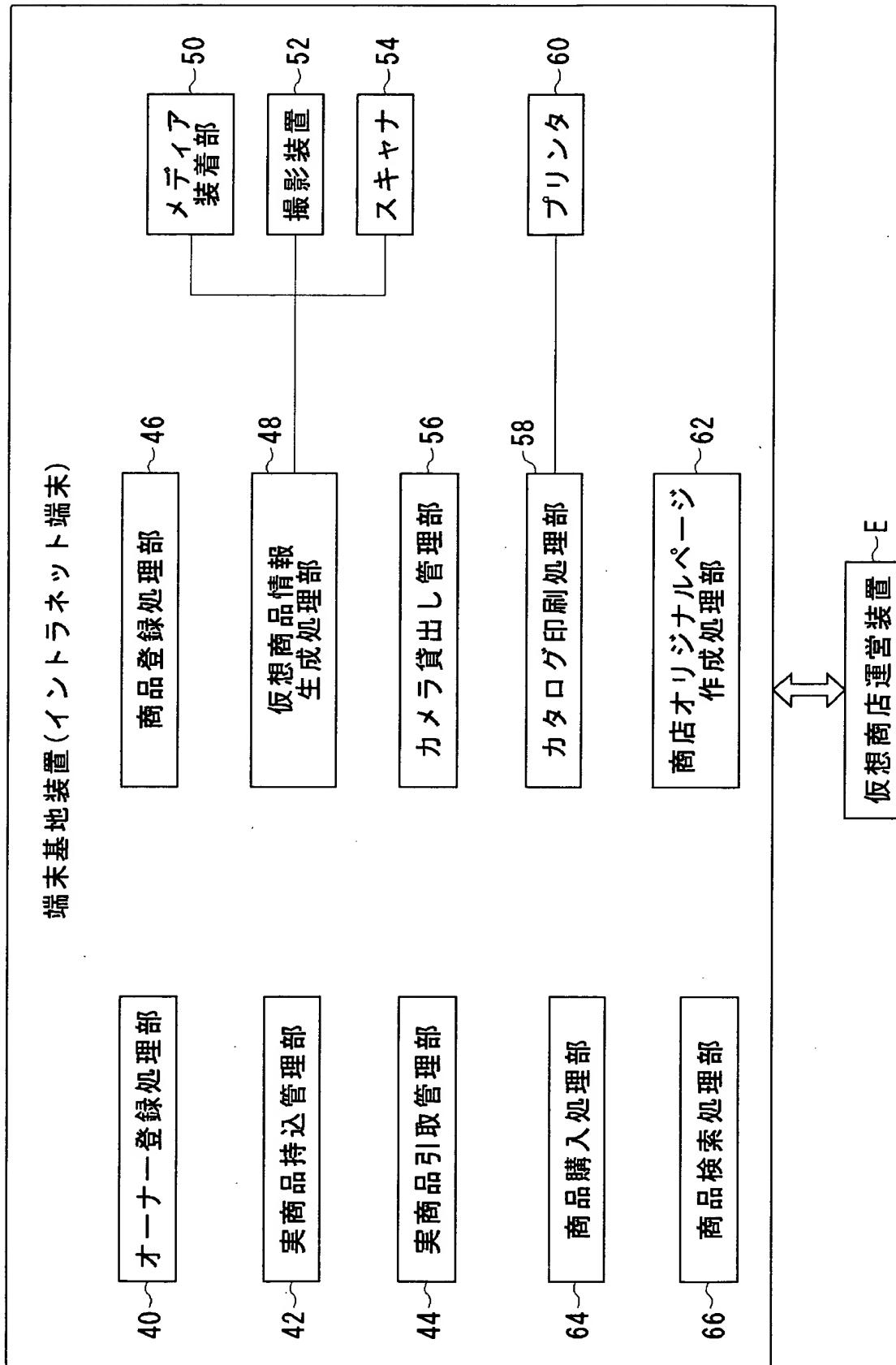
Shop種類	商品棚	開店費用	月次基本料金
Shop-S	5個(固定)	1,000円	—
Shop-M	10~100個	10,000円*	100円×棚数
Shop-L	20~1000個	50,000円*	250円×棚数

*Shop-M及びLには別途オリジナルShopページ作成サービス(200万円~)あり。

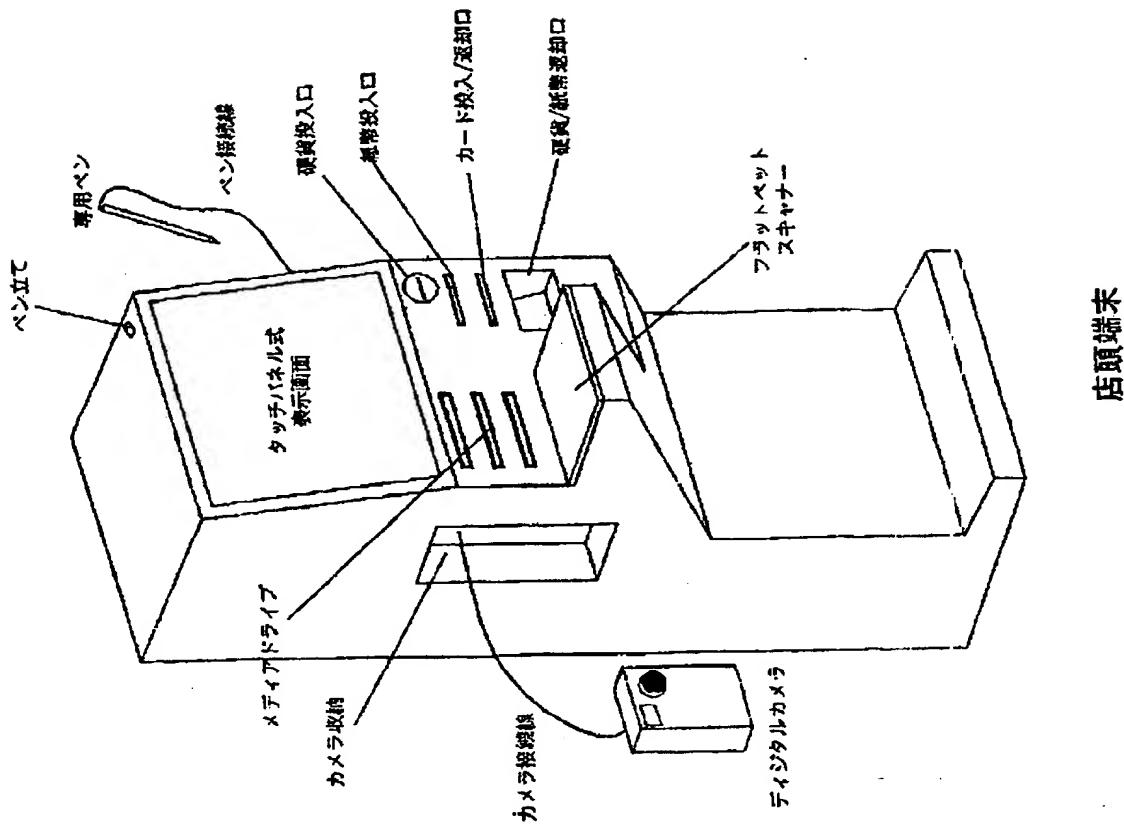
取り引き毎の手数料(配送料別途指定)

取引金額(消費税課税前)	手数料(内印紙代金)
1,000円未満	150円
1,000円以上5,000円未満	250円
5,000円以上30,000円未満	400円
30,000円以上200,000円未満	850円(200円)
200,000円~	1,200円(200円)

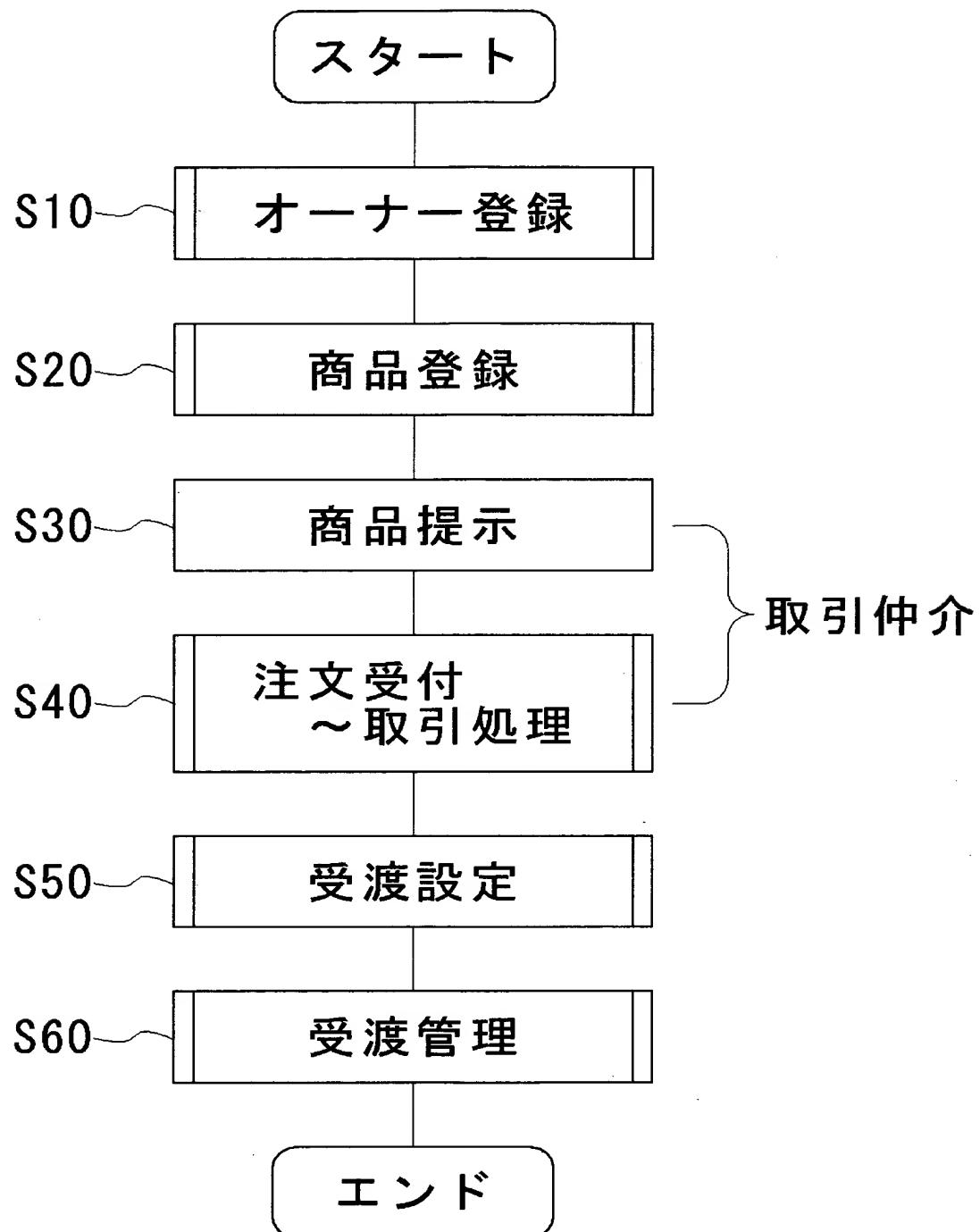
【図10】



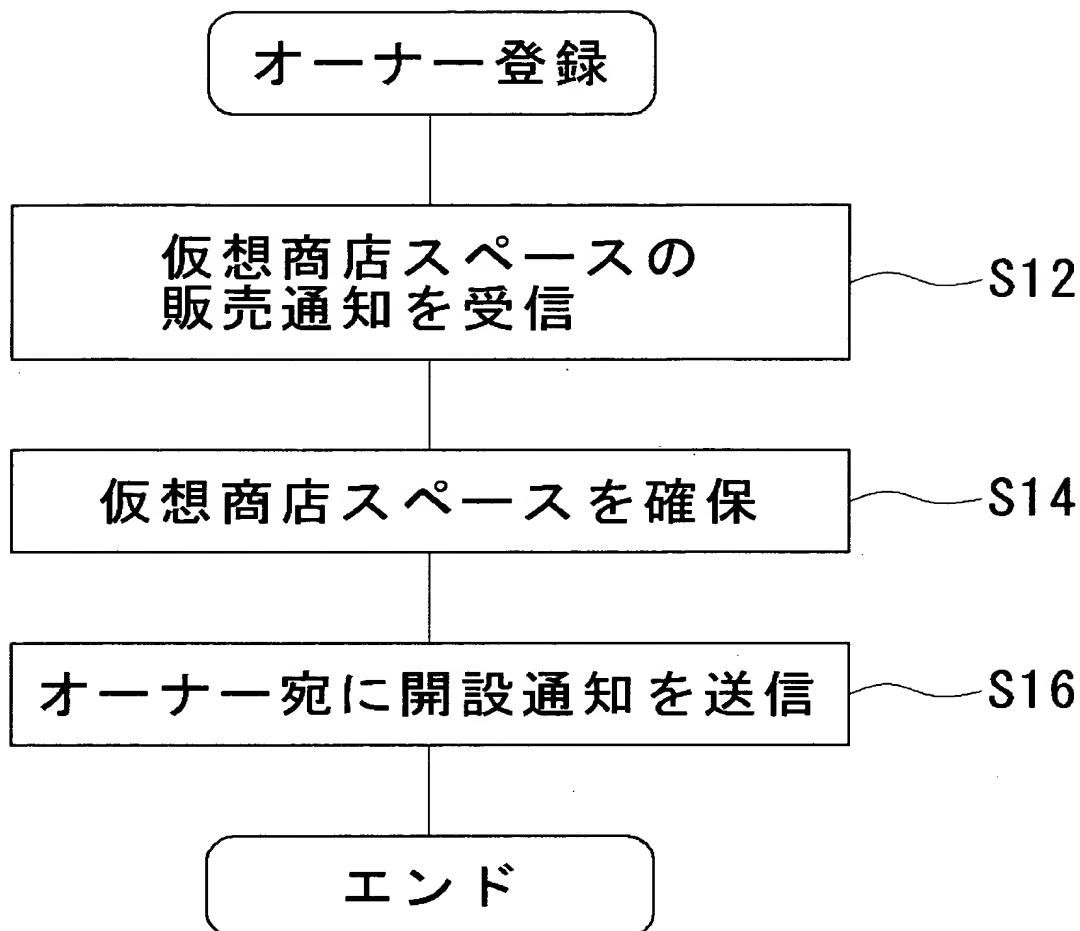
【図11】



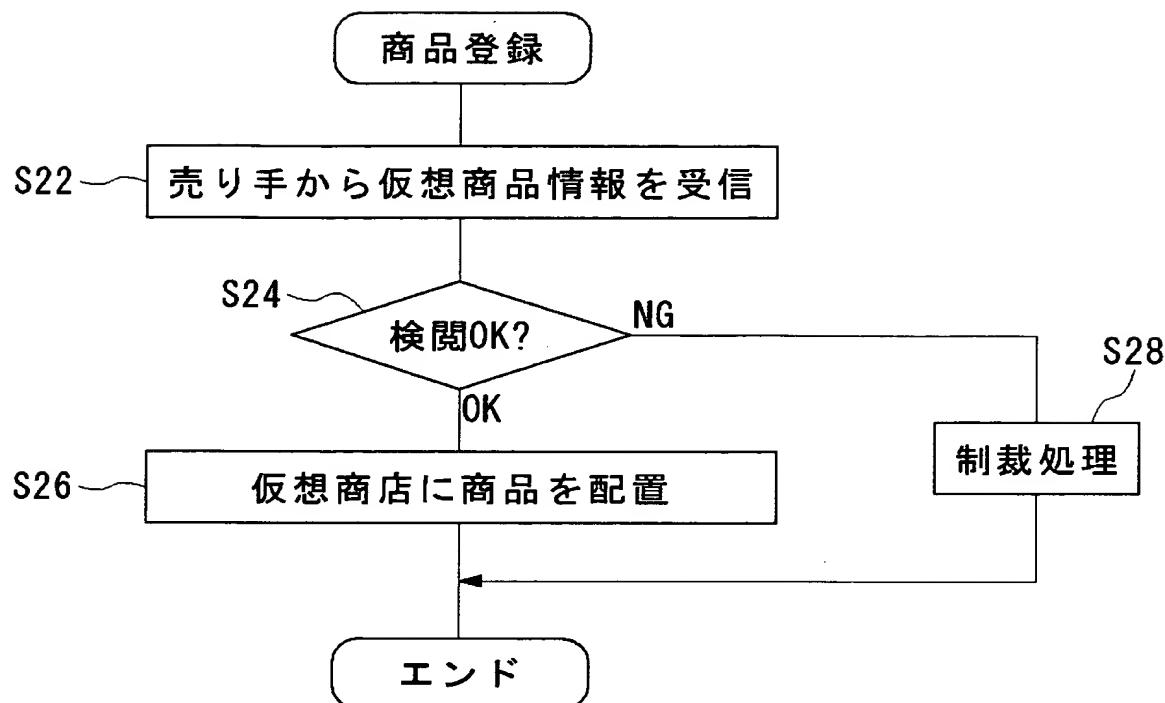
【図 1-2】



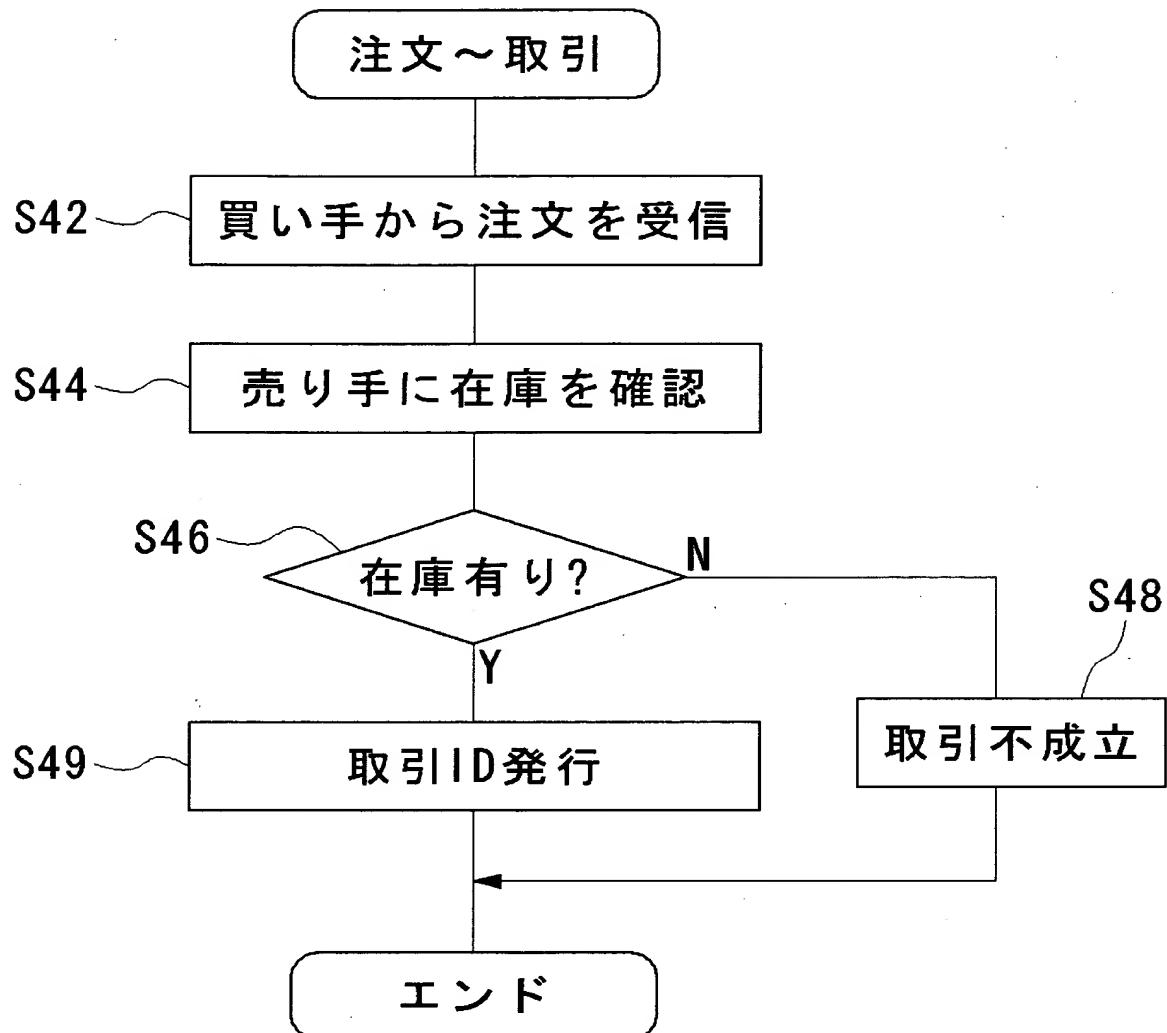
【図13】



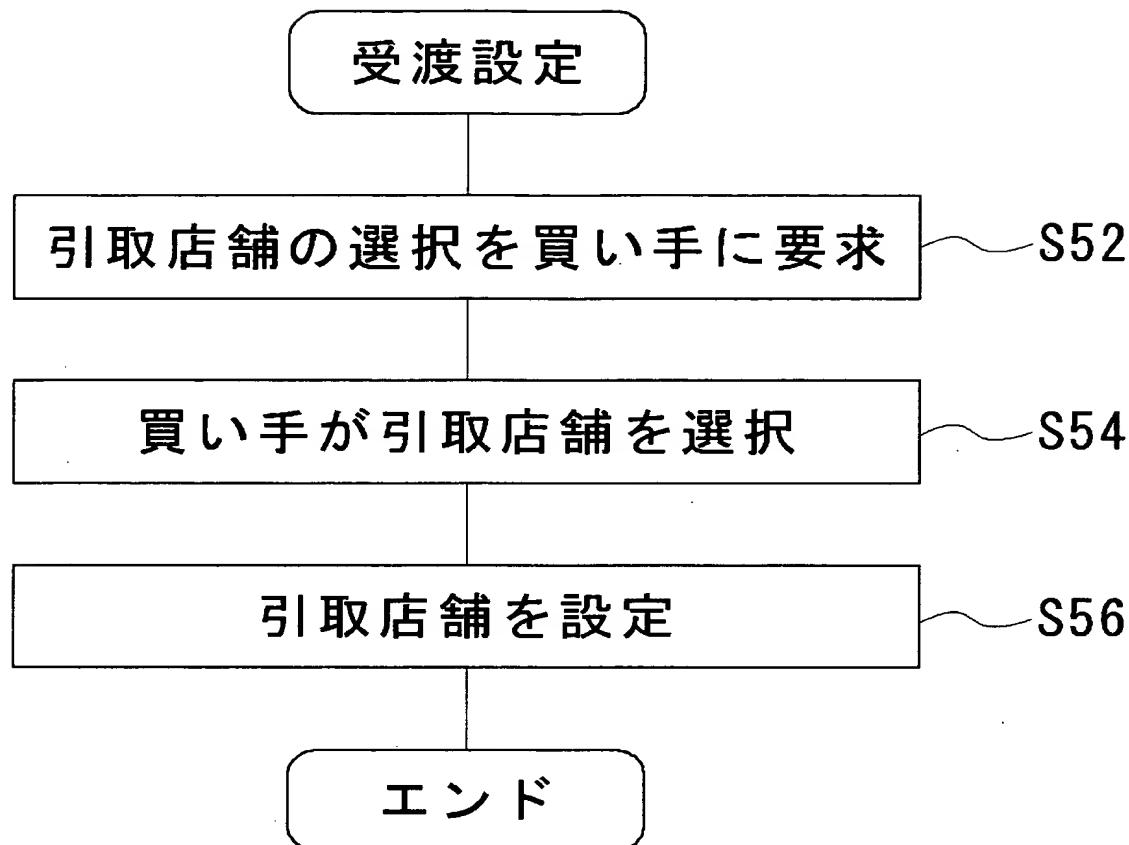
【図14】



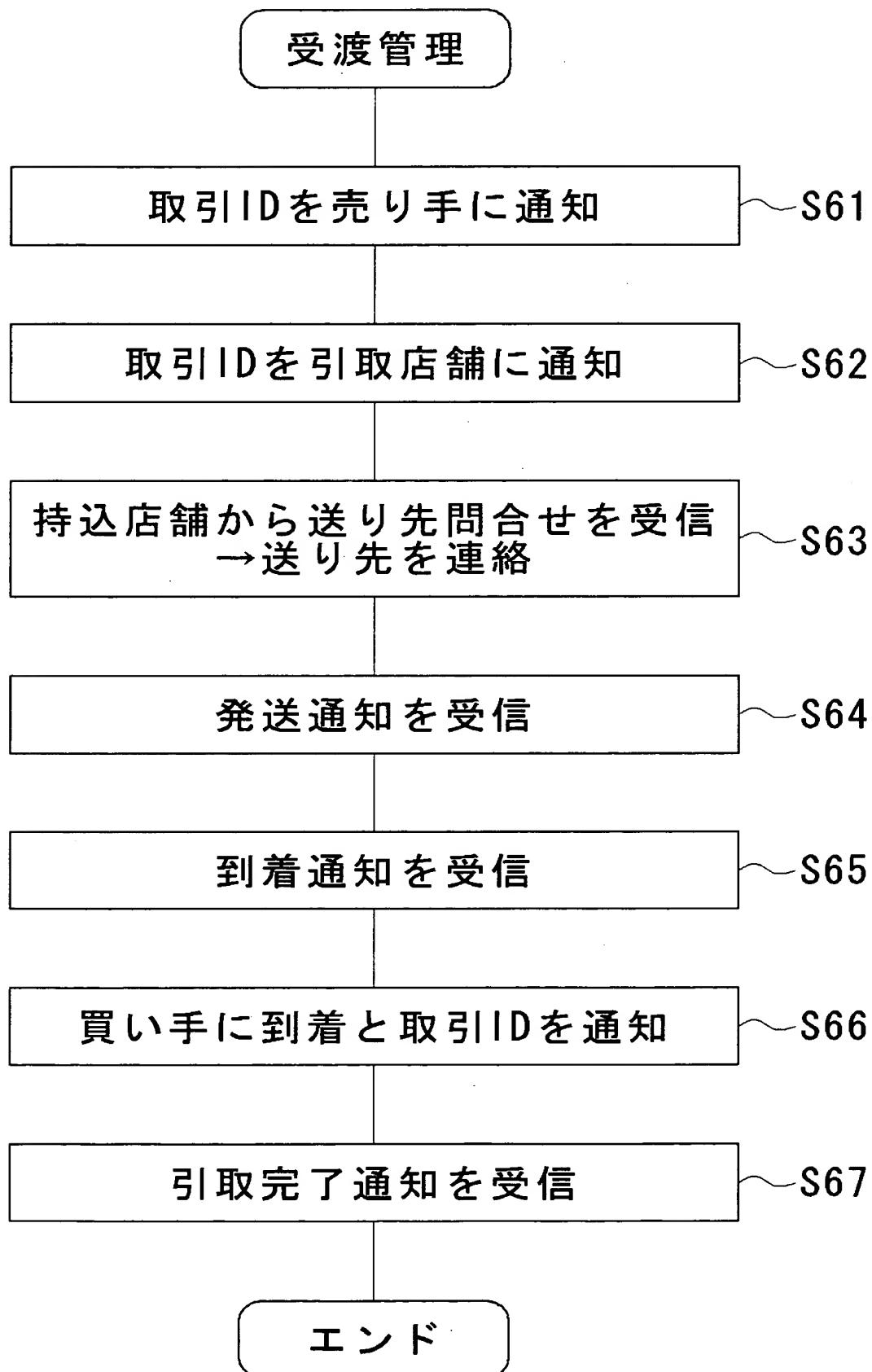
【図15】



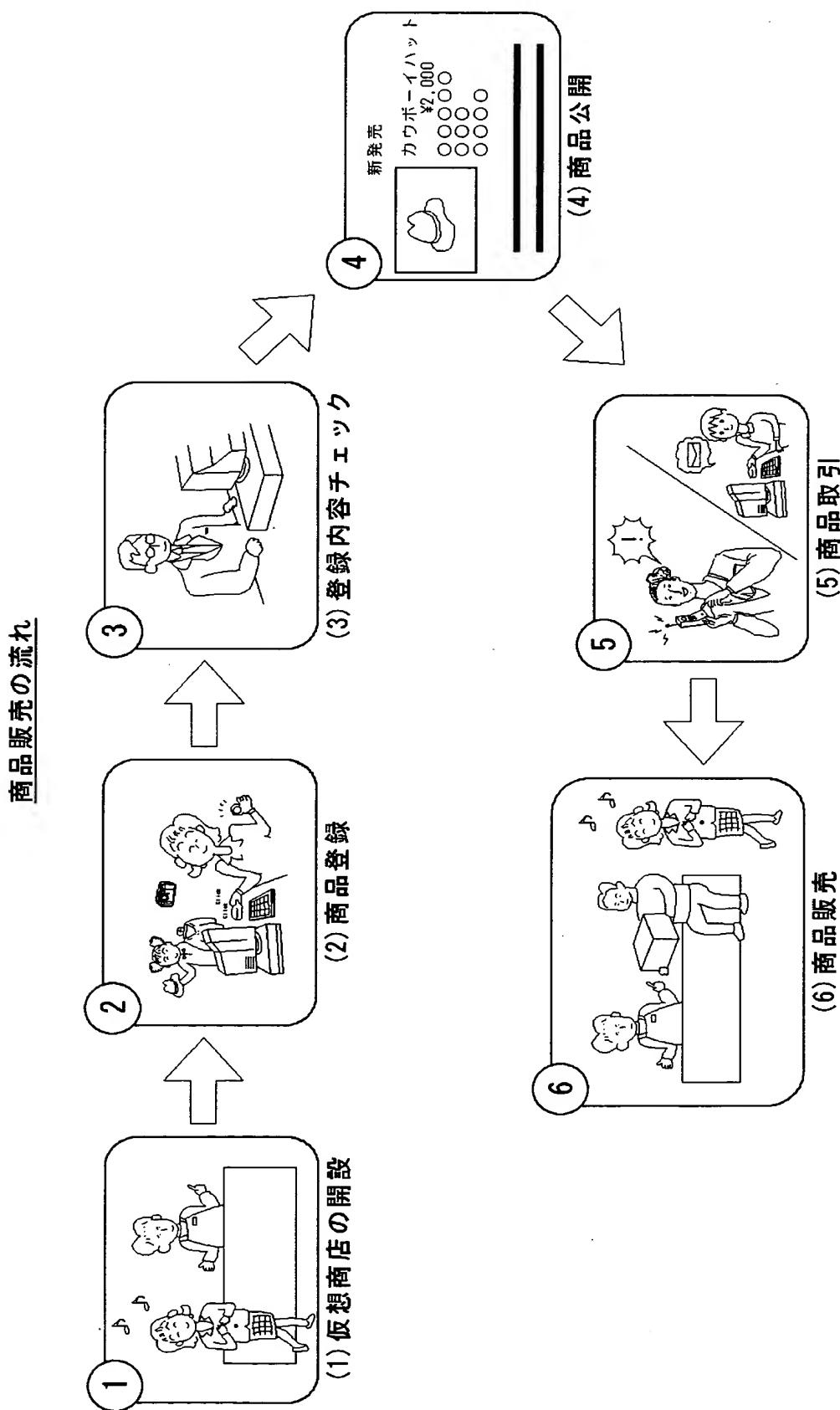
【図16】



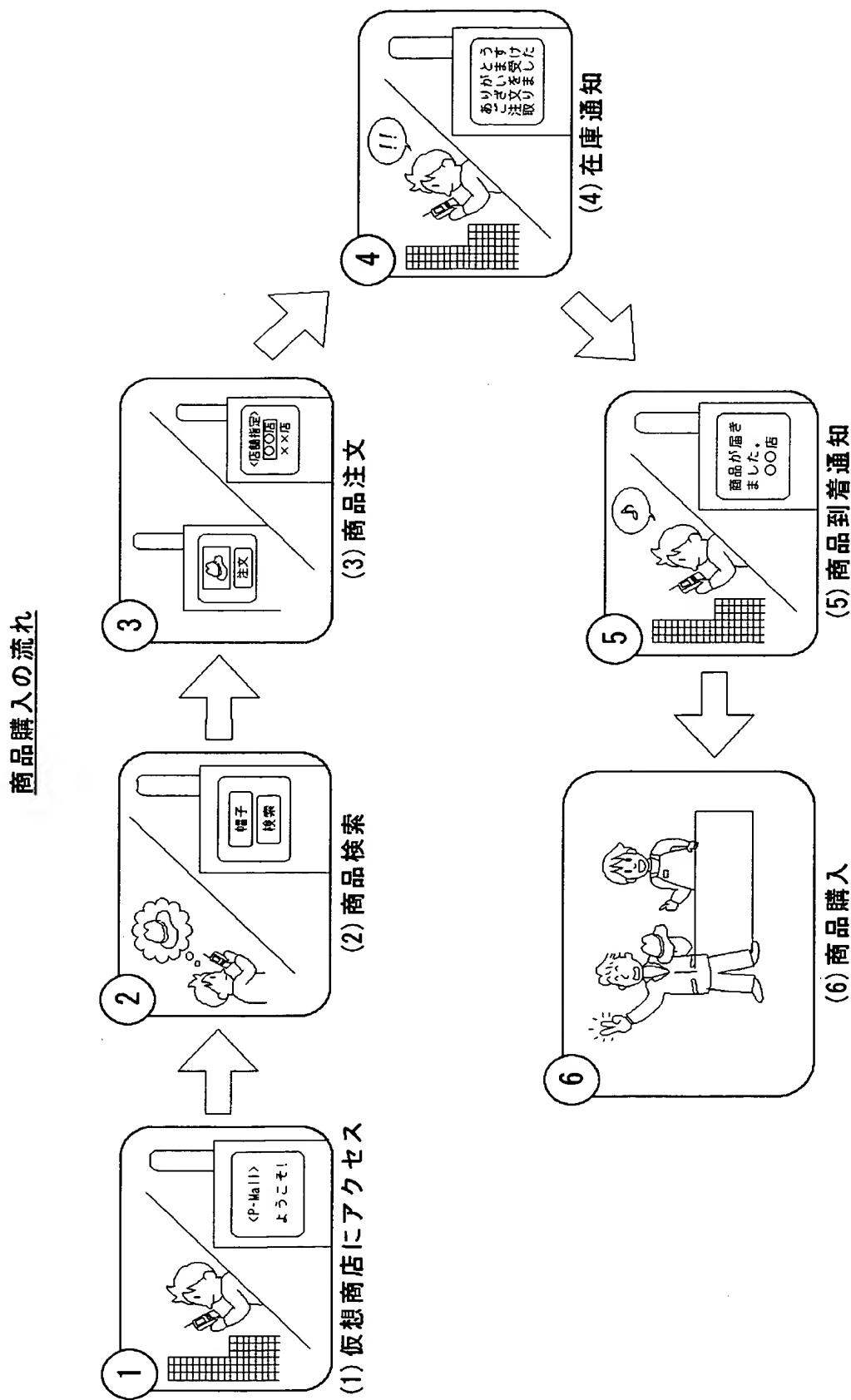
【図17】



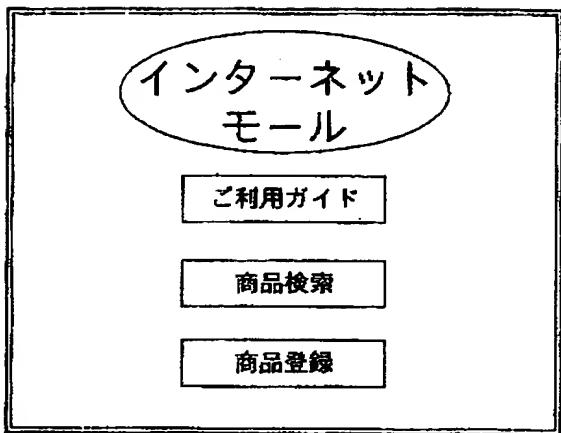
【図18】



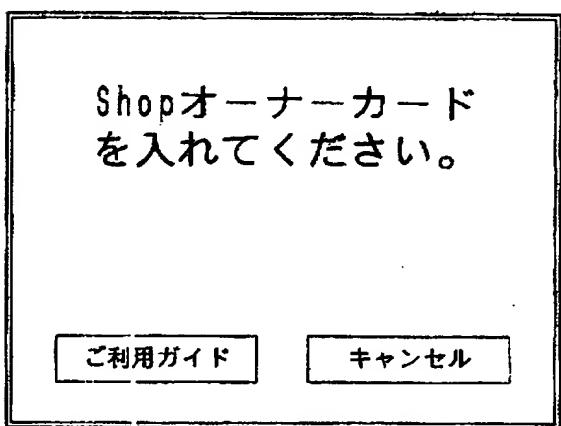
【図19】



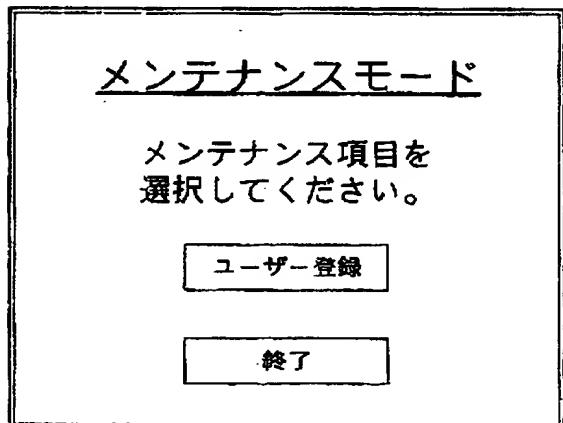
【図20】



【図21】



【図22】



(図23)

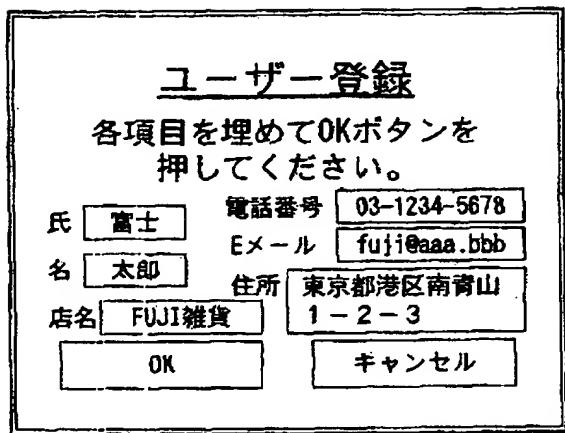
ユーザー登録

各項目を埋めてOKボタンを
押してください。

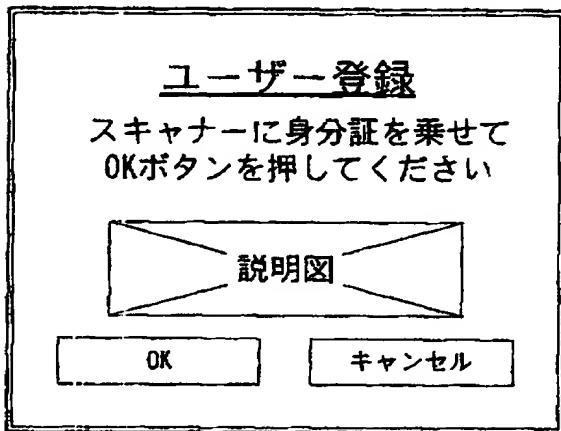
氏名	<input type="text"/>	電話番号	<input type="text"/>
名前	<input type="text"/>	住所	<input type="text"/>
店舗名	<input type="text"/>		
<input type="button" value="OK"/>		<input type="button" value="キャンセル"/>	

【図24】

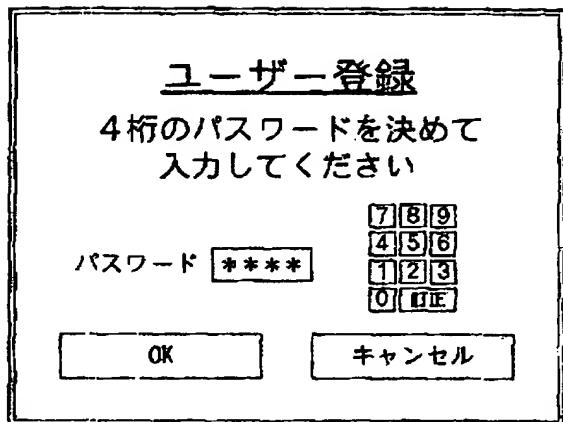
【図25】



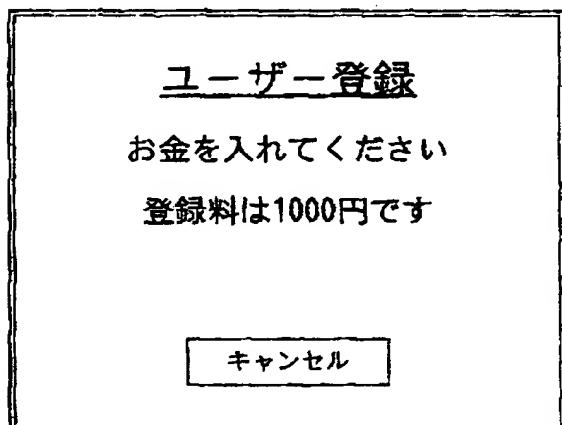
【図26】



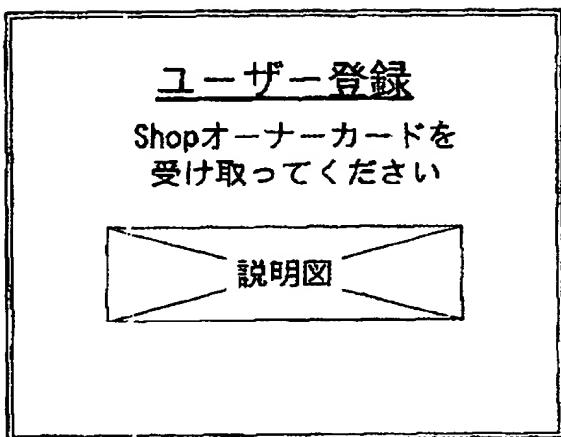
【図27】



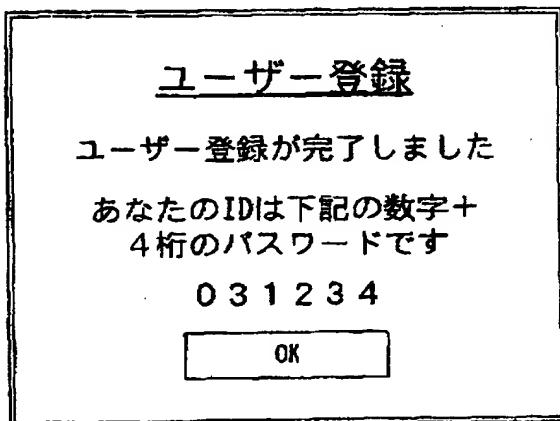
【図28】



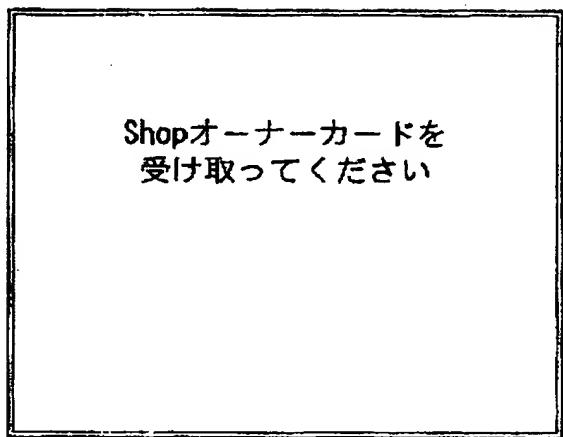
【図29】



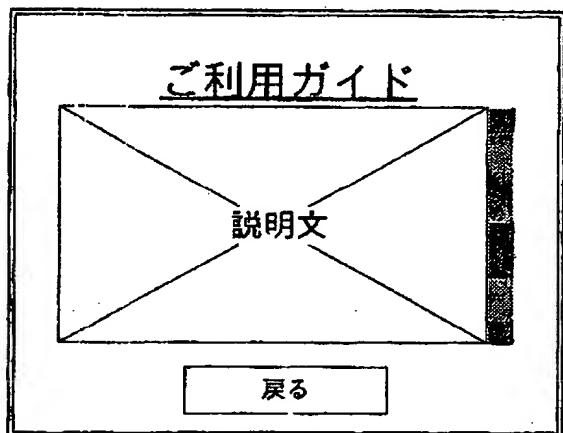
【図30】



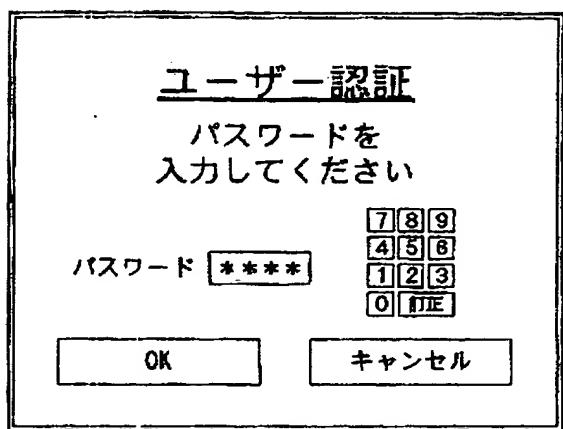
【図31】



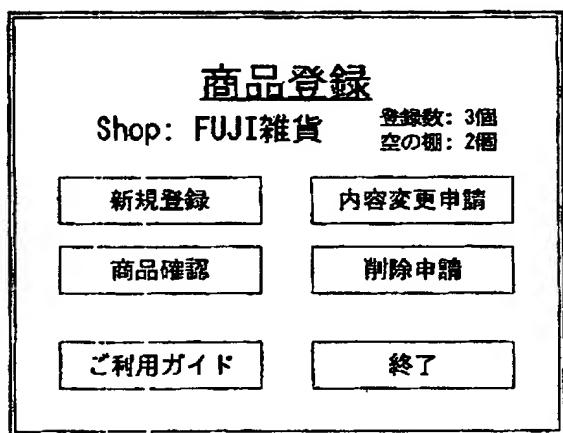
【図32】



【図33】



【図34】



【図35】

新規登録

各項目を入力してください

カテゴリ
商品名
値段
コメント

店名公開 Yes No

【図36】

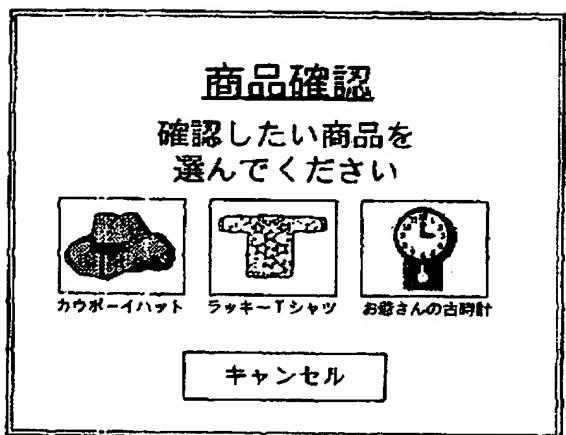
新規登録

各項目を入力してください

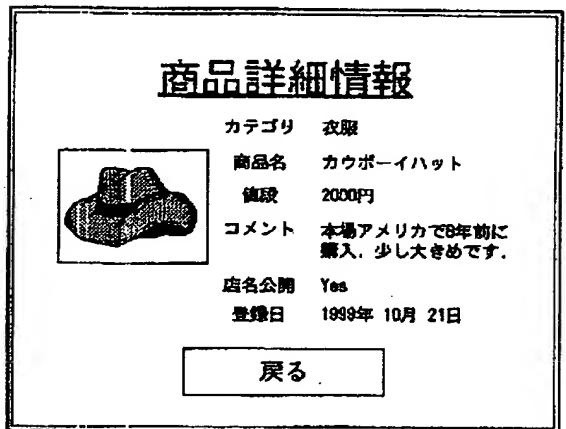
カテゴリ
商品名
値段
コメント

店名公開 Yes No

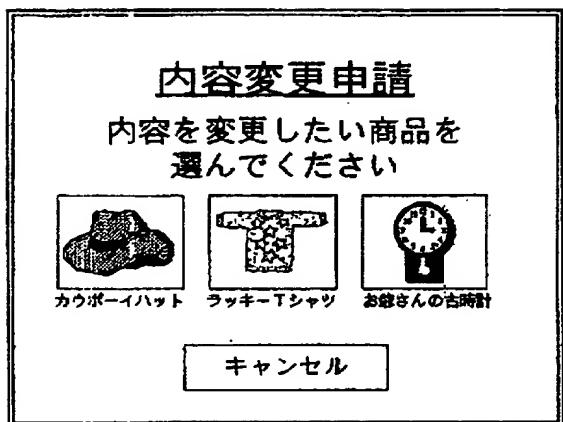
【図37】



【図38】



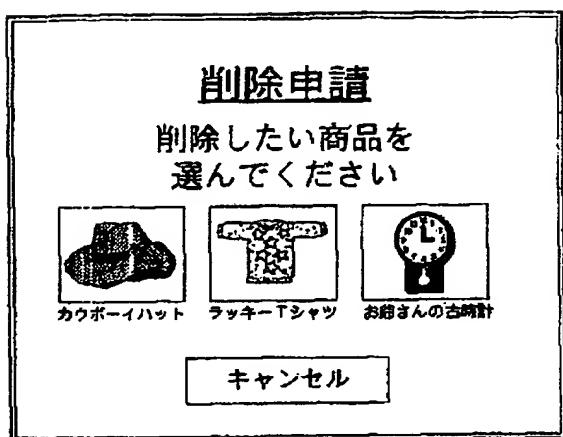
【図39】



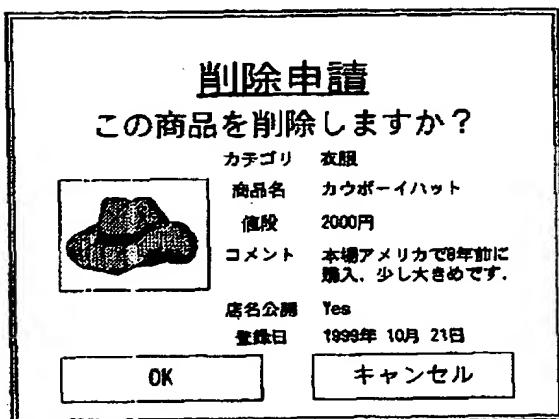
【図40】



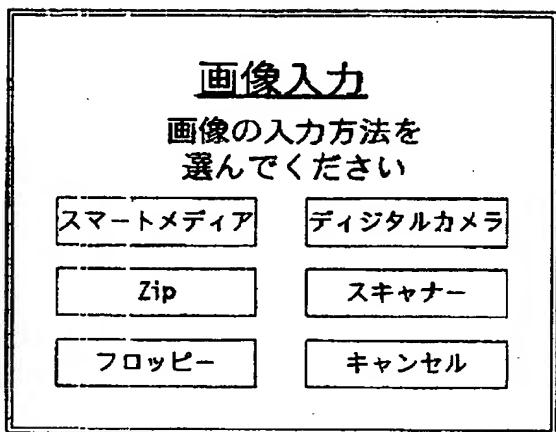
【図41】



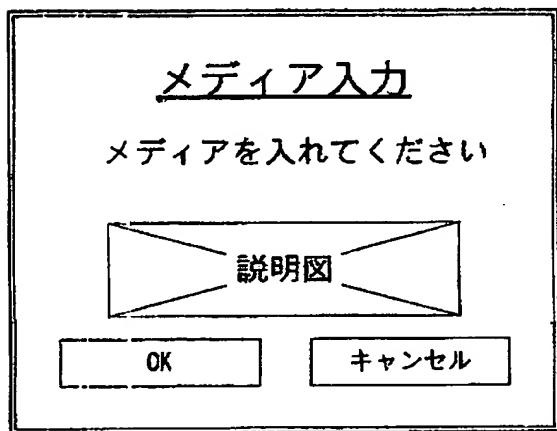
【図42】



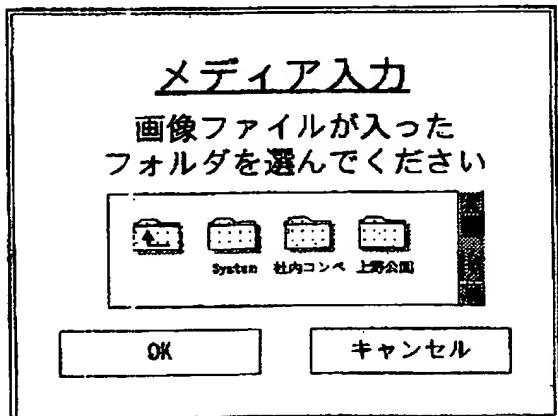
【図43】



【図44】



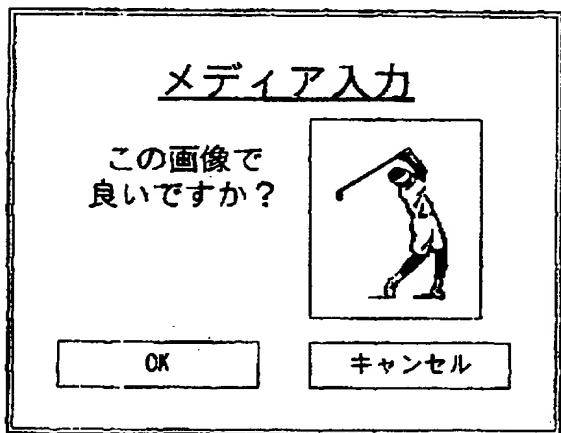
【図45】



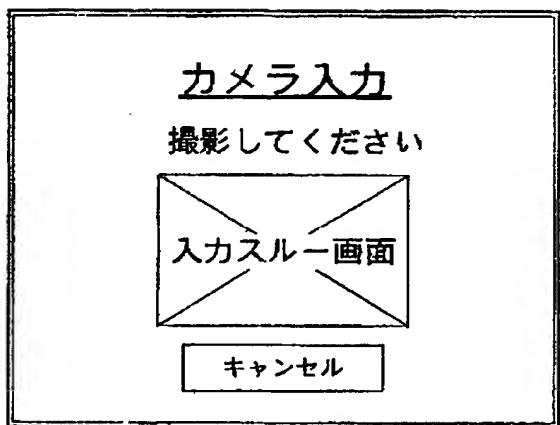
【図46】



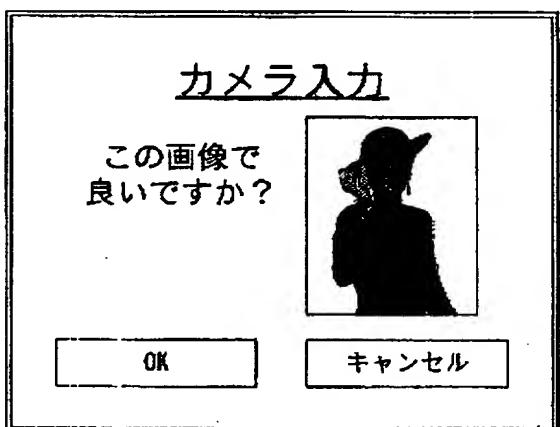
【図47】



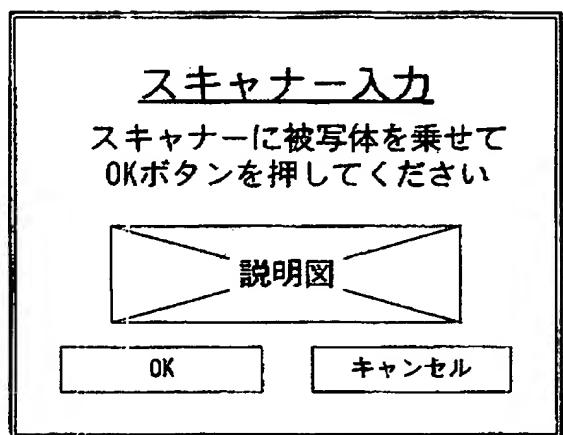
【図48】



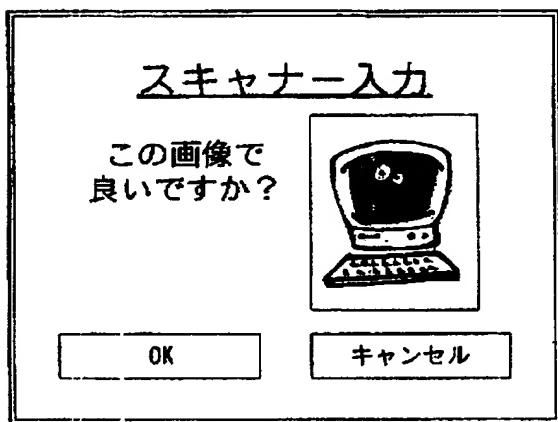
【図49】



【図50】



【図51】



【図52】

商品検索

条件を入力してください

商品名 店名
価格 ~
キーワード と もしくは
 と を含む
分類 なし Shop別 カテゴリ別 発売日別 価格別

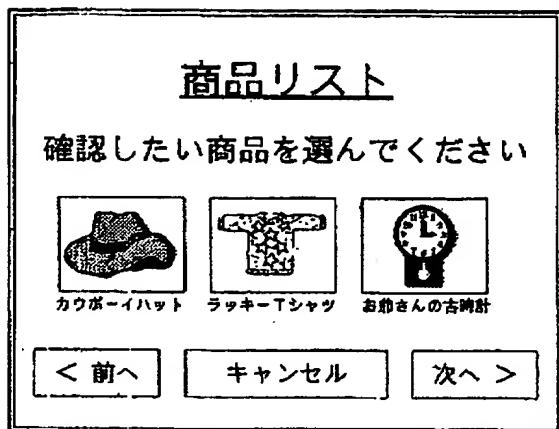
【図53】

商品検索

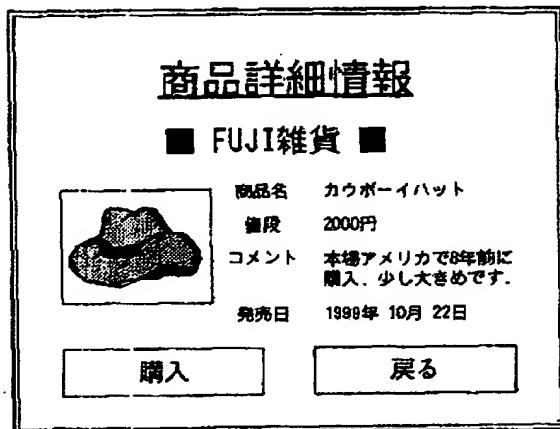
条件を入力してください

商品名 店名
価格 ~ 5000
キーワード 雑貨 と もしくは
 衣服 と を含む
分類 なし Shop別 カテゴリ別 発売日別 価格別

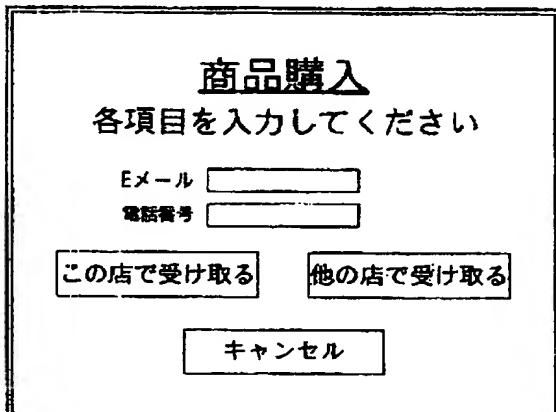
【図54】



【図55】



【図56】



【図57】

商品購入

各項目を入力してください

Eメール
電話番号

【図58】

店舗選択

商品を受け取る店舗を選択してください

朝霞店 和光店 川越店
 志木店 成増店 鶴瀬店
 新座店 板橋店 鶴ヶ島店

【図59】

商品購入確認

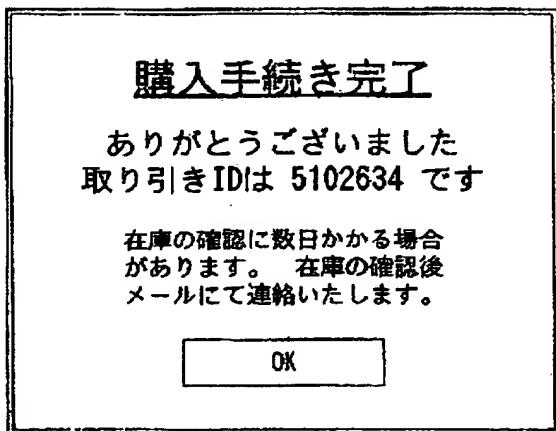
この商品を購入します

■ FUJI雑貨 ■ 商品名 カウボーイハット
値段 2000円
コメント 本場アメリカで8年前に
購入、少し大きめです。
発売日 1999年 10月 22日



受け取り店: 朝霞店

【図60】



【図61】



【図62】



【図63】



【図64】

割引設定テーブルの例

割引タイプ	10以上	50以上100未満	100以上500未満	500以上2000未満	2000以上
タイプA	95%	90%	85%	80%	75%
タイプB	90%	90%	90%	90%	90%
タイプC	100%	100%	80%	80%	80%

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 売り手参加型の仮想商店システムを提供する。

【解決手段】 仮想商店運営装置Eは、実商品に対応する仮想商品情報を売り手Aから受け付けて仮想商店に登録する。仮想商店運営装置Eは、仮想商品情報を買い手Bに提示して、売り手Aと買い手Bの仮想商店上での取引を仲介する。取引が成立すると、仮想商店運営装置Eは、売り手Aから買い手Bまでの実商品の受渡経路を設定することにより、仮想商店上での取引を現実化する。受渡経路を設定するときは、チェーン化された複数の現実の端末基地から、買い手Bが実商品を引き取るべき端末基地Dが設定される。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日 1990年 8月14日

[変更理由] 新規登録

住 所 神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名 富士写真フィルム株式会社